

令和5年度

八戸の社会教育

(令和4年度実績)

八戸市教育委員会



市 章

本市の市章は「八戸」の二文字と
旧南部藩の“向鶴^{むかいづる}の紋^{もん}”をもとに
して図案化したもので昭和6年に
一般から募り制定しました。

八 戸 市 民 憲 章

わたくしたちは 伝統と未来をもつ八戸市の市民です。
わたくしたちは このまちをいっそう立派にするために
市民憲章をさだめます。

- 1 郷土を愛し 文化の高いまちにしましょう
- 1 元気ではたらき 豊かなまちにしましょう
- 1 あすをつくる子どものしあわせなまちにしましょう
- 1 みんなに親切にし 明るいまちにしましょう
- 1 心をあわせ 安全なまちにしましょう

(昭和44年8月20日制定)

目 次

1	八戸市の概況	1
2	機構図及び予算	
	・八戸市教育委員会 機構図	2
	・令和5年度 社会教育関係予算	3
3	第2期 八戸市教育振興基本計画	4
4	事業・施設等概要	
	◇社会教育課	
	・社会教育グループ 事業概要	7
	・八戸市民大学講座講師一覧	8
	・八戸市民大学講座年度別受講状況	9
	・地区公民館	10
	・文化財グループ 事業概要	20
	・文化財一覧（国指定・県指定・市指定）	22
	◇教育総務課・学校教育課	
	・事業概要	26
	◇教育指導課	
	・事業概要（勤労青少年ホーム）	27
	◇八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	
	・事業概要（是川縄文館、是川縄文館分館（縄文学習館））	29
	◇総合教育センター	
	・事業概要（総合教育センター、視聴覚センター・児童科学館、視聴覚ライブラリー）	31
	◇図書館	
	・事業概要（八戸市立図書館（本館）、八戸市立南郷図書館（分館）、八戸市図書情報センター（分館））	34
	◇博物館	
	・事業概要（八戸市博物館、南郷歴史民俗資料館、史跡根城の広場）	38
	◇文化創造推進課	
	・事業概要（八戸市文化教養センター（南部会館）、八戸市公会堂、八戸市公民館（八戸市公会堂文化ホール）、八戸市南郷文化ホール（スウィングベリーNANGO）、八戸南部氏庭園、八戸市立集会場（更上閣・更上閣にぎわい広場））	43
	・八戸市文化賞、文化奨励賞受賞者名簿	49
	◇美術館	
	・事業概要	51
5	委員名簿	56
	・八戸市教育委員会委員	
	・八戸市社会教育委員	
	・八戸市文化財審議委員	
	・八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館運営協議会委員	
	・八戸市博物館協議会委員	
	・八戸市青少年問題協議会委員	

1 八戸市の概況

八戸市は、太平洋に臨む青森県の南東部に位置し、北はおいらせ町及び五戸町、西は南部町、南は階上町及び岩手県軽米町に接しています。

地形は、なだらかな台地に囲まれた平野が太平洋に向かって広がり、その平野を三分する形で馬淵川、新井田川の2本の川が流れています。

臨海部には、大規模な工業港、漁港、商業港が整備され、背後に工業地帯が形成されています。

気候は、夏は偏東風（ヤマセ）の影響を受けると冷涼で、冬は晴天が多く乾燥しています。また、北東北にありながら降雪量が少なく、日照時間が長いことも特徴となっています。

八戸地方には、国宝、国指定重要文化財、重要無形文化財など、数多くの文化財があります。中でも、技巧的にも芸術的にも優れた出土品が多い縄文時代の是川遺跡・風張1遺跡や、平成30年10月にその出土品が国指定重要文化財に指定された、飛鳥時代中頃から平安時代前期にかけての群集墳である丹後平古墳群などにより、古くから高い文化をもつ人々が生活していたと考えられています。

建武元年（1334年）、南朝方の命を受けた甲斐の国の南部師行が、現在の八戸市根城に北東北を治める拠点を定めました。

藩政時代になり、八戸は一時、盛岡藩の支配下に入りましたが、寛文4年（1664年）、南部直房を初代とする2万石の八戸藩が誕生し、城下は商業や八戸港の交易によって栄えました。

明治22年（1889年）に町村制施行によって八戸町となり、昭和4年（1929年）5月1日に、近隣の2町1村と合併し、人口約5万2千人の八戸市が誕生しました。その後、周辺7村との合併により市域を広げ、優れた漁港施設や背後施設を有する全国屈指の水産都市として、また北東北随一の工業都市として、着実に発展を遂げてきました。

平成29年（2017年）1月には、中核市へ移行し、市民サービスの向上のほか、同年3月には近隣7町村と連携中枢都市圏を形成するなど、広域的な連携にも取り組んでいます。

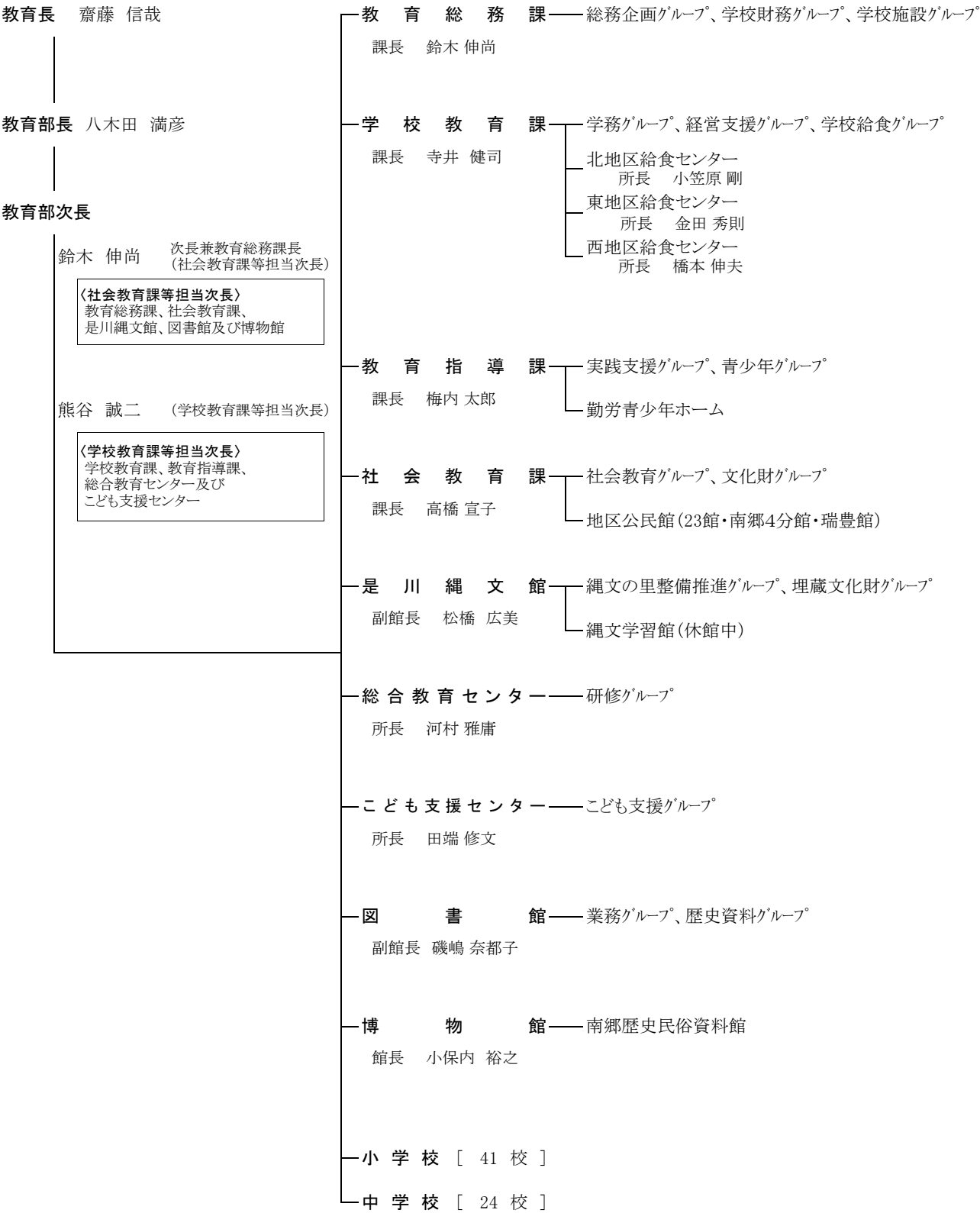
近年では、令和4年（2022年）3月8日、「蕪島ウミネコ繁殖地」が天然記念物に指定されてから100周年を迎えました。また、令和5年（2023年）5月24日には、種差海岸が三陸復興国立公園に指定されて10周年を迎えるなど、貴重な自然や景観を未来に継承するべく環境保全に努め、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。

八戸市教育委員会機構図

令和5年10月1日現在

教育委員会	
教育長	齋藤 信哉
委員	小瀬川 喜井
委員	福井 武久
委員	西山 康巳
委員	小澤 直子

事務局所在地 〒031-8686 八戸市内丸一丁目1-1
TEL 0178-43-2111
0178-43-9274(教育総務課直通)
FAX 0178-47-4997(教育総務課)



令和５年度 社会教育関係予算（当初予算）

（単位：千円）

予算費目		５年度 予算額	４年度 予算額	増減額
労働費	勤労青少年ホーム費	15,976	15,637	339
教育費	社会教育費			
	社会教育総務費	272,211	276,384	△4,173
	青少年対策費	12,770	11,949	821
	公民館費	498,941	327,513	171,428
	図書館費	368,330	260,173	108,157
	視聴覚センター費	268,942	44,486	224,456
	博物館費	232,654	173,644	59,010
	南部会館費	14,298	42,128	△27,830
	美術館費	340,219	333,649	6,570
	文化財保護費	38,426	35,777	2,649
	文化財調査費	85,993	72,669	13,324
	是川縄文の里事業費	234,207	276,503	△42,296
	八戸南部氏庭園事業費	5,187	4,569	618
	史跡根城の広場費	106,051	79,088	26,963
	公会堂費	286,801	252,840	33,961
	文化ホール費	3,639	3,400	239
	市民大学講座費	7,783	7,852	△69
	ブックセンター費	98,519	100,225	△1,706
	更上閣費	14,275	18,583	△4,308
	新美術館施設整備費	0	15,300	△15,300

第2期八戸市教育振興基本計画

1 基本理念

夢はぐくむ ふれあいの教育 八戸

「夢はぐくむ ふれあいの教育 八戸」は、平成12年に学校教育の基本理念として掲げられ、平成15年に策定された「八戸市教育プラン」においては、八戸市の教育全ての分野における基本理念とされました。第1期教育振興基本計画においても基本理念とし、「生きる力」の源となる「夢」、人と人との絆を結ぶ「ふれあい」、郷土「八戸」に対する誇りと愛着を育む教育の実現のために様々な施策に取り組んでまいりました。

「生きる力」の源となる「夢」、人と人との絆を結ぶ「ふれあい」、郷土「八戸」に対する誇りと愛着を育むことは、教育における普遍的な使命であり、第2期八戸市教育振興基本計画においても、「夢はぐくむ ふれあいの教育 八戸」を八戸市の教育の基本理念とします。

2 基本理念の目指す教育の姿

第2期八戸市教育振興基本計画においては、「生きる力」の源となる「夢」、人と人との絆を結ぶ「ふれあい」、郷土「八戸」に対する誇りと愛着を踏まえて、基本理念の目指す教育の姿を次のとおりとします。

自ら学び、心身ともに豊かに生きる教育 郷土を愛し、郷土とともに生きる教育

自ら学び、心身ともに豊かに生きる教育

「生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）」を育み、命を大切にする教育に取り組むとともに、生涯学習の推進を図ります。

郷土を愛し、郷土とともに生きる教育

郷土に対する誇りと愛着を育み、様々な人と協働し、地域の担い手となる教育に取り組めます。

生涯を通じて学べる環境の充実

□多様な学習機会の提供

① 多様な学習機会の提供

様々な公開講座を開催するとともに、地元高等教育機関等が開催する公開講座を支援し、広く市民に学びの場を提供します。

② 社会教育施設による講座・展覧会等の開催

様々な社会教育施設が行う常設展・特別展・講座・学習会等を通じ、多様な学習の機会を提供します。

□社会教育施設の整備

① 社会教育施設の整備

社会教育施設の定期点検や診断を適切に実施するとともに、維持管理の適正化を図り、施設の長寿命化に努めます。

文化財等の保護の推進

□文化財の保存活用

① 史跡の整備活用の推進

史跡の保存と活用をより推進するため、環境整備を充実させるとともに、生涯学習及び観光・まちづくりの拠点としての活用を推進します。

② 文化財の保存活用の推進

文化財の保存と活用をより推進するため、収蔵資料等の適切な保存管理を行うとともに、その公開活用を推進します。

③ 文化財・名勝等の保護管理の充実

文化財を良好な状態で次世代に継承するため、維持管理に係る支援を行うとともに、名勝等の景観・自然環境等を守るため、監視活動や植生管理の充実を図ります。

④ 民俗芸能等の保存継承の推進

民俗芸能等を後世に継承するため、伝承者の養成・公開・記録保存に取り組み、伝承活動の活性化を図ります。

⑤ 考古等の資料・遺跡の調査研究の充実

地域の歴史を明らかにし、文化財等のバランスのとれた保存と活用を行うため、考古・歴史・民俗等の資料と遺跡の調査研究を図り、その成果の公開と活用の充実に努めます。

□歴史記録の保存活用

① 歴史記録の保存活用の充実

地域固有の歴史記録を保存し活用するために、資料の収集と適切な整理保存に努め、その公開や標示による周知と活用を図ります。

4 事業概要

◇社会教育課

社会教育グループ 主要事業

事業名	内容	令和4年度実績
八戸市民大学講座事業	市民の生涯学習の一環として、様々な分野で活躍する講師を迎えて講座を開設する。	実施期間：6月22日（水）～11月15日（火） 講義数：8 受講者数：1,360人 修了者数：50人
社会教育関係運営事業 ・社会教育委員の会議 ・社会教育関係団体への助成	社会教育法第16条及び八戸市社会教育委員に関する条例に基づき社会教育委員を委嘱し、社会教育に関する諸計画の審議等を行う。 八戸市連合父母と教師の会への補助。	第1回：5月27日（金） 第2回：2月8日（水） 委員数：15人 補助金額：350千円
家庭の教育力充実事業	○ 家庭教育研修会の開催 家庭教育や子育てに関する専門家を講師に招き、教育関係者や一般市民を対象に年3回研修会を開催する。 ○ 子育て・親育ち講座の開催 市内認定こども園、幼稚園、保育園、小中学校及びPTAを実施主体として家庭教育に関する講座を実施する。 ○ 幼稚園家庭教育学級の委託 幼児を持つ親及び幼児を対象とする講習会、研修会等の開催を八戸市私立幼稚園協会に委託する。 ○ 家庭教育支援基盤形成事業 城北小学校に子育て支援コーディネーター2人を配置し、学校・地域・関係機関と連携して家庭教育に関する情報や学習機会の提供、相談対応を行う。	第1回及び第2回は、八戸市民大学講座第4講義、第8講義と併催。第3回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施しなかった。 計2回の受講者数：459人 11講座 実施校：小学校11校 参加者数：1,550人 私立幼稚園20園 参加者数：1,260人 活動延べ日数：40日
放送大学運営支援事業	ユートリー内に設置の八戸サテライトスペースの運営支援を行う。（市が賃料半額負担及び放送大学が雇用する補助職員2名の人件費を負担）	令和4年度 八戸サテライト在籍者数 第1学期 309人 第2学期 311人
成人式開催事業	○ 新成人代表者と市長との懇談会 新成人代表者が市長との話し合いを通じて、郷土八戸についての理解を深めるとともに、明日を担う青年としての誇りと自覚を高める。 ○ 成人式の実施 （令和4年度開催分） 対象者 H14.4.2～H15.4.1 生	日時：11月20日（日） 場所：八戸グランドホテル 参加者数：新成人代表者等 12人 日時：令和5年1月8日（日） 場所：八戸市公会堂 参加者数：1,696人
海洋研究開発機構研究成果活用経費	市民の海洋科学への関心を高めることを目的として国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の協力を得ながら、船舶の一般公開やJAMSTECの研究成果の展示及び発表、小中学生向けの出前授業の開催など、海洋に関する事業を実施する。	JAMSTEC職員による出前授業 2小学校、2中学校 計4校

令和4年度 八戸市民大学講座講師一覧

NO.	月日	曜日	時間	会場	講師肩書き	講師	演題	受講者数
1	6月22日	水	開講式18:15 18:30～20:00	公会堂	経済ジャーナリスト	おぎわら ひろこ 荻原 博子	今後どうする？私たちの暮らし ～SDGsと消費生活～	204人
2	7月1日	金	18:30～20:00	公会堂	ジャーナリスト キャリアカウンセラー	いいだ えみ 飯田 絵美	大切なことは スポーツが教えてくれた ～東京オリンピック、パラリン ピックで見た多様性社会～	122人
3	7月21日	木	18:30～20:00	公会堂	こぐま社 元編集長	せきや ゆうこ 関谷 裕子	「11びきのねこ」の作者・ 馬場のぼると故郷・青森	126人
4	8月23日	火	18:30～20:00	公会堂	フリーアナウンサー	かさい しんすけ 笠井 信輔	がんからの生還 ～アナウンサーパパ奮闘記～	147人
5	9月27日	火	18:30～20:00	公会堂	株式会社オフィスRM 代表取締役 管理栄養士	いまいずみ こ 今泉 マユ子	「もしも」に備える！ 役立つ防災食セミナー	108人
6	10月11日	火	18:30～20:00	公会堂	動物学者	いまいずみ ただあき 今泉 忠明	愛すべき “どんねんないきもの”と進化	161人
7	10月25日	火	18:30～20:00	公会堂	筑波大学教授 元柔道選手	やまぐち かおり 山口 香	変わる勇気、変えるアクション ～誰もが挑戦できる 社会を目指して～	180人
8	11月15日	火	修了式18:15 18:30～20:00	公会堂	放送作家	ののむら ゆきこ 野々村 友紀子	強く生きるためのヒント ～野々村友紀子が伝えたい 人生で大事なこと～	312人

八戸市民大学講座

年度別受講状況

(単位:人)

項目 年度	受 講 申 込 者 数			修 了 者 数			年間総受講者数　（主会場）	地区公民館	計
	男	女	計	男	女	計		受講者数 (旭ヶ丘会館含)	
昭和45年	822	384	1,206	311	208	519	3,500		3,500
46	515	471	986	344	310	654	3,650		3,650
47	330	446	776	220	357	577	4,670		4,670
48	453	357	810	321	274	595	4,380		4,380
49	493	282	775	356	209	565	3,535		3,535
50	586	403	989	389	281	670	4,620		4,620
51	525	350	875	343	220	563	5,446		5,446
52	569	535	1,104	362	311	673	6,000		6,000
53	637	603	1,240	370	336	706	7,136		7,136
54	596	582	1,178	337	304	641	7,176		7,176
55	586	551	1,137	328	288	616	7,189		7,189
56	675	648	1,323	339	391	730	8,013		8,013
57	672	703	1,375	349	387	736	7,814		7,814
58	600	815	1,415	346	448	794	10,046		10,046
59	654	686	1,340	377	409	786	10,020		10,020
60	649	656	1,305	379	386	765	9,989		9,989
61	556	678	1,234	343	399	742	8,035		8,035
62	490	547	1,037	324	328	652	8,159		8,159
63	550	587	1,137	367	363	730	9,328		9,328
平成元年	535	726	1,261	366	448	814	9,955	234	10,189
2	505	574	1,079	323	337	660	8,245	474	8,719
3	466	587	1,053	321	310	631	8,431	366	8,797
4	351	458	809	238	357	595	7,980	356	8,336
5	526	628	1,154	293	390	683	8,367	543	8,910
6	333	512	845	222	302	524	6,349	463	6,812
7	324	403	727	252	259	511	7,761	461	8,222
8	389	429	818	285	273	558	7,895	490	8,385
9	332	356	688	240	247	487	6,312	392	6,704
10	323	303	626	258	223	481	6,490	433	6,923
11	307	317	624	242	223	465	7,217	439	7,656
12				102	136	238	12,409	467	12,876
13				86	88	174	6,959	333	7,292
14				85	124	209	7,055	279	7,334
15				91	118	209	7,319	261	7,580
16				76	109	185	6,080	217	6,297
17				93	120	213	9,289	130	9,419
18				76	117	193	7,232		7,232
19				89	118	207	8,522		8,522
20				82	122	204	9,075		9,075
21				87	125	212	7,618		7,618
22				83	108	191	8,766		8,766
23				75	94	169	5,874		5,874
24				90	105	195	9,498		9,498
25				90	88	178	8,449		8,449
26				72	81	153	7,511		7,511
27				57	75	132	6,526		6,526
28				61	74	135	7,592		7,592
29				44	54	98	5,368		5,368
30				47	59	106	6,699		6,699
令和元年				53	70	123	7,983		7,983
2	新型コロナウイルス感染症の影響により全講座中止								0
3				修了証書の授与は未実施			1,331		1,331
4				-	-	50	1,360		1,360
計	15,349	15,577	30,926	11,084	11,563	22,697	372,223	6,338	378,561

地区公民館

基本方針

豊かでうるおいのある生涯学習社会の形成に向け、地域住民の教養の向上、健康増進、生活文化の振興、社会福祉の増進など総合的に応える社会教育施設としての公民館の機能を充実し、生涯学習の推進に努める。

- (1) 住民の生きがいとなるように施設、設備、情報等を積極的に提供し、世代間の連帯感を強め、地域生活に根ざした事業を行う。
- (2) 生涯学習に生きる生活態度の養成、特に、共同学習や文化活動の相互啓発の機会を設け、生活文化を高める事業を行う。

重点施策と主要事項

重点施策	主要事項
(1) 各種学級の開設及び文化的行事の開催	①公民館活動教室・青年学級・女性学級・高齢者教室・市民学校・家庭教育学級・移動公民館・市民 I T 講習会の実施 ②子育て支援事業の推進 ③学習活動の成果発表（文化祭・芸能祭等） ④地域文化・伝統行事の支援
(2) より良い学習内容、方法等の開発	①地域の特性を活かした公民館活動推進 ②特色ある講座・教室の開発 ③視聴覚教材を利用した講座・教室の実施
(3) 公民館自主クラブ等の育成・支援	①公民館自主クラブの育成 ②地域関係団体の自主活動事業の支援
(4) 指導体制の拡充	①地区公民館への指導助言 ②職員・公民館職員の研修
(5) 公民館の施設・設備等の整備及び充実	①公民館施設・設備の整備充実
(6) 学習情報提供・学習相談体制の整備	①学習情報の収集・提供 ②学習機会情報の提供
(7) 各関連施設・機関との連携、協力	①青森県公民館連絡協議会・三八地方公民館連絡協議会・三八社会教育委員連絡協議会との連携協力を努める。
(8) 地域コミュニティ活動の促進	①地区公民館を核としたまちづくりや地域活性化のための拠点作り ②地域づくりに取り組む人材の育成や団体の組織化の支援

地区公民館一覧（全24館）

※市長部局所管の八戸市公民館、八戸市福祉公民館を除く。

公民館名（設置年度） 住所・構造・建設年度・建設面積	公民館名（設置年度） 住所・構造・建設年度・建設面積
小中野公民館 （昭和27年） 小中野五丁目2-17 TEL 22-2877 鉄筋 平成26年度 1,970.90㎡ 敷地面積 1,553.40㎡	三八城公民館 （昭和34年） 城下三丁目1-17 TEL 45-2566 鉄筋 昭和56年度 803.75㎡ 敷地面積 1,801.80㎡
白銀公民館 （昭和38年） 白銀三丁目2-14 TEL 33-1633 鉄筋 平成4年度 899.81㎡ 敷地面積 2,036.49㎡	江陽公民館 （昭和51年） 江陽二丁目18-34 TEL 45-4571 鉄筋 平成28年度 900.00㎡ 敷地面積 1,759.09㎡
鮫公民館 （昭和44年） 鮫町字住吉町14-1 TEL 33-1942 鉄筋 昭和61年度 809.84㎡ 敷地面積 1,072.31㎡	長者公民館 （昭和52年） 糠塚字下道2-1 TEL 45-4801 鉄筋 昭和51年度 1,103.70㎡ 敷地面積 2,020.98㎡
上長公民館 （昭和30年） 一番町一丁目4-1 TEL 23-3237 鉄筋 昭和60年度 747.96㎡ 敷地面積 1,321.63㎡	田面木公民館 （昭和26年） 田面木字上野道下夕30-1 TEL 27-3333 鉄筋 昭和52年度 674.22㎡ 敷地面積 1,315.00㎡
柏崎公民館 （昭和44年） 柏崎三丁目13-5 TEL 43-9139 鉄筋 昭和59年度 817.46㎡ 敷地面積 1,638.90㎡	市川公民館 （昭和54年） 市川町字赤畑19-2 TEL 52-2319 鉄筋 昭和53年度 534.00㎡ 敷地面積 1,009.98㎡
大館公民館 （昭和33年） 新井田字常光田17-1 TEL 25-3331 鉄筋 昭和50年度 699.80㎡ 敷地面積 1,939.99㎡	南浜公民館 （昭和55年） 鮫町字棚久保14-48 TEL 39-3036 鉄筋 昭和54年度 560.85㎡ 敷地面積 1,192.18㎡
下長公民館 （昭和27年） 下長一丁目4-9 TEL 28-8863 鉄筋 昭和55年度 540.00㎡ 敷地面積 966.01㎡	根岸公民館 （平成元年） 高州二丁目23-1 TEL 20-4894 鉄筋 昭和63年度 804.94㎡ 敷地面積 1,977.29㎡
吹上公民館 （昭和46年） 吹上三丁目17-3 TEL 43-2931 鉄筋・鉄骨 平成2年度 853.52㎡ 敷地面積 1,645.88㎡	白銀南公民館 （平成7年） 大久保字行人坂36-6 TEL 35-6810 鉄筋 平成6年度 820.28㎡ 敷地面積 1,695.98㎡
湊公民館 （昭和47年） 湊町字中道64-7 TEL 33-4411 鉄筋 平成7年度 818.81㎡ 敷地面積 995.98㎡	東公民館 （平成9年） 新井田字八森平7-67 TEL 25-2951 鉄筋 平成8年度 820.39㎡ 敷地面積 1,840.84㎡
是川公民館 （昭和48年） 是川字東前田3-11 TEL 96-1219 鉄筋 平成29年度 911.87㎡ 敷地面積 3,408.45㎡	白山台公民館 （平成22年） 北白山台五丁目2-5 TEL 38-9788 鉄筋 平成21年度 885.38㎡ 敷地面積 2,857.70㎡
館公民館 （昭和48年） 八幡字下陳屋40-1 TEL 27-5431 鉄筋 平成28年度 859.79㎡ 敷地面積 1,368.61㎡	南郷公民館 （昭和53年） 南郷市野沢字黒坂7-2 TEL 82-3385 鉄筋 昭和53年度 2,384.35㎡ 敷地面積 8,276.54㎡ 分館：頃巻沢・中野・古里・緑の各館 ※平成17～20年度：教育委員会南郷事務所が所管
根城公民館 （昭和49年） 根城三丁目11-22 TEL 44-6927 鉄筋 平成28年度 934.50㎡ 敷地面積 1,610.31㎡	瑞豊館 （昭和55年） 豊崎町字上永福寺130-1 TEL 23-2618 鉄筋 昭和55年度 1,143.94㎡ 敷地面積 6,428.26㎡

地区公民館 職員名簿

令和5年9月1日現在

	地区公民館名	非常勤館長名	非常勤主事名		地区公民館名	非常勤館長名	非常勤主事名
1	小中野公民館	上 條 秀 信	留 目 樹 子	13	三八城公民館	三 浦 勝 美	清 川 京 子
			福 村 真由美				和 山 淑 子
			工 藤 奈津子				熊 野 かおり
2	白銀公民館	西久保 雅 庸	川 渡 唯	14	江陽公民館	田 邊 隆	倉 田 佳奈恵
			橋 本 恵 里				吉 田 弘 司
			越 後 貴 子				菊 地 美 香
3	鯨公民館	副 嶋 文 雄	御 厨 花央里	15	長者公民館	大 橋 永 治	大 南 春 香
			河 村 ユ リ				高 橋 恵
			下 田 ちひろ				東 野 文 子
4	上長公民館	奥 寺 健 二	滝 川 由季子	16	田面木公民館	三 浦 和 壽	山 田 美 香
			松 倉 園 子				福 岡 文 子
			川 口 敬 子				山 本 睦 子
5	柏崎公民館	正部家 光 彦	吉 田 里 合	17	市川公民館	金 濱 金 光	鈴 木 志華子
			卷 由 美				木 村 宏
			目 代 美 樹				五十嵐 由 貴
6	大館公民館	峯 明 紀	柳 沢 聖 子	18	南浜公民館	福 士 政 子	二 部 明 子
			檜 崎 史 保				田 中 敬 子
			荒 田 友 美				館 伸 子
7	下長公民館	名久井 明	市 川 菜 子	19	根岸公民館	荒 木 興 一	林 崎 美 子
			上 山 万喜子				下 村 由美子
			上 村 恵 子				神 山 英 恵
8	吹上公民館	永 淵 律 子	志 村 智世子	20	白銀南公民館	小 玉 吉 美	武 部 悦 子
			西 村 敦 子				林 尊 美
			前 田 敏 江				工 藤 美咲子
9	湊公民館	大久保 伸 夫	根 本 悦 子	21	東公民館	小 泉 孝 一	法 官 知 香
			山 下 千 里				笹 本 小百合
			長谷部 裕 子				磯 嶋 るみ子
10	是川公民館	市 川 美恵子	山 崎 麻璃那	22	白山台公民館	嶋 津 明	高 谷 典 子
			細 越 幸 子				上原子 澄 子
			小 向 詩 子				尾 田 宇 江
11	館公民館	下斗米 友理子	和 田 久美子	23	南郷公民館	須 藤 淳	元 木 ゆかり
			佐々木 香 里				井戸上 幸 子
			工 藤 真 己				大和山 祥 子
12	根城公民館	西 館 尚 美	澤 山 令美子	24	瑞豊館	中 村 光 男	田 中 智恵子
			塙 幸 恵				津 嶋 康 代
			工 藤 慎 子				赤 石 真奈美

令和4年度 地区公民館利用状況

館名	主催事業 (各種講座)		共催事業 (文化祭など)		貸館(減免)				貸館 (有料・その他)		合計	
					教育関係団体		教育関係以外					
	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
小中野	73	990	4	106	835	13,863	122	2,644	289	3,193	1,323	20,796
白 銀	70	744	9	176	764	9,966	91	2,165	124	923	1,058	13,974
鮫	68	676	5	97	695	9,641	139	2,488	179	1,720	1,086	14,622
上 長	67	759	3	68	708	8,526	86	1,556	375	3,126	1,239	14,035
柏 崎	57	689	0	0	1,128	12,557	75	1,354	164	2,031	1,424	16,631
大 館	78	1,846	28	560	822	9,836	143	2,966	182	2,256	1,253	17,464
下 長	79	914	13	181	878	9,664	363	3,312	43	553	1,376	14,624
吹 上	60	711	28	299	619	8,957	97	1,773	170	1,416	974	13,156
湊	75	649	9	342	427	3,574	135	3,106	168	1,466	814	9,137
是 川	50	408	10	107	451	6,963	43	679	94	1,239	648	9,396
館	52	457	2	16	498	4,466	75	1,181	25	239	652	6,359
根 城	58	727	8	1,040	1,007	14,863	171	3,000	615	6,295	1,859	25,925
三八城	64	760	6	220	478	5,608	183	2,835	179	1,543	910	10,966
江 陽	77	702	6	292	612	7,975	68	1,313	231	1,411	994	11,693
長 者	39	210	0	0	912	10,128	108	1,899	244	2,070	1,303	14,307
田面木	63	735	8	346	546	7,069	118	1,438	114	1,167	849	10,755
市 川	49	512	0	0	420	5,766	93	1,473	249	3,118	811	10,869
南 浜	39	351	2	38	179	2,372	56	840	12	518	288	4,119
根 岸	107	1,544	20	597	784	10,737	104	1,813	136	1,569	1,151	16,260
白銀南	52	388	346	2,022	561	7,035	98	1,646	40	131	1,097	11,222
東	60	681	10	218	809	12,128	116	3,024	108	1,219	1,103	17,270
白山台	59	571	41	3,026	855	13,413	178	3,455	619	6,370	1,752	26,835
南 郷	53	405	0	0	111	1,862	29	505	34	605	227	3,377
頃巻沢	—	—	—	—	0	0	3	40	1	6	4	46
中 野	—	—	—	—	9	60	11	170	9	180	29	410
古 里	—	—	—	—	0	0	1	16	0	0	1	16
緑	—	—	—	—	0	0	10	142	0	0	10	142
瑞豊館	40	441	0	0	453	8,739	66	906	32	300	591	10,386
合 計	1,489	16,870	558	9,751	15,561	205,768	2,782	47,739	4,436	44,664	24,826	324,792
平 均	62	703	23	406	556	7,349	99	1,705	158	1,595	887	11,600

※主催事業(各種講座)には、IT体験コーナー等の件数を含む。

事業内容及び実施状況(令和4年度実績)

○公民館活動教室

教室名	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
小中野	22 時間	117 人	指ヨガ教室、南部弁講座 他
白 銀	32 時間	130 人	カラダの学校、PPバンド教室 他
鮫	25 時間	50 人	革工芸教室、ワイヤーアート教室 他
上 長	26 時間	84 人	焼き物教室、書道教室 他
柏 崎	23 時間	122 人	そば打ち教室、コンサート 他
大 館	15 時間	146 人	ふるさとウォーク、まちづくりゼミナール 他
下 長	32 時間	119 人	南部菱刺し、切り絵教室 他
吹 上	24 時間	142 人	写真鑑賞会、ニュースポーツ教室 他
湊	31 時間	88 人	洋食料理教室、藍染教室 他
是 川	24 時間	75 人	カルトナージュ教室、トールペイント教室 他
館	27 時間	109 人	ヘッドマッサージ、絵手紙教室 他
根 城	15 時間	136 人	郷土料理、コンサート 他
三八城	32 時間	266 人	レクリエーション、ニュースポーツ教室 他
江 陽	26 時間	102 人	貯筋体操教室、南部菱刺し教室 他
長 者	16 時間	44 人	ストレッチ、習字教室 他
田面木	22 時間	200 人	八戸焼陶芸教室、寄せ植え教室 他
市 川	22 時間	43 人	ステンドグラス教室、つまみ細工教室 他
南 浜	16 時間	26 人	紙ひも細工教室
根 岸	36 時間	361 人	色紙書道教室、卓球教室 他
白銀南	18 時間	60 人	男の料理教室、体芯力体操教室 他
東	24 時間	161 人	寄せ植え教室、終活講座 他
白山台	18 時間	74 人	藤手芸教室、ミニ門松作り 他
南 郷	53 時間	160 人	ひょうたんランプ教室、筋膜体操 他
瑞豊館	15 時間	143 人	組子細工教室、味噌作り 他
計	594 時間	2,958 人	

○青年学級

学級名	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
根 城	18.5 時間	116 人	卓球教室、バルーンアート 他

○女性学級

学級名	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
小中野	31 時間	147 人	ステンドグラス教室、料理教室 他
白 銀	40 時間	134 人	ラペリスフラワー教室、革工芸教室 他
鮫	31 時間	128 人	3B体操教室、ブレスレット作り 他
上 長	24 時間	98 人	頭皮マッサージ教室、リース作り教室 他
柏 崎	22 時間	118 人	八戸小唄講習会、水引マナー教室 他
大 館	35 時間	173 人	手芸教室、フラワーアレンジメント 他
下 長	30 時間	158 人	エコクラフト、健康ストレッチ 他
吹 上	30 時間	152 人	ステンシル教室、古着リフォーム教室 他
湊	42 時間	148 人	トールペイント教室、パッチワーク教室 他
是 川	18.5 時間	92 人	フラダンス教室、ラフターヨガ教室 他
館	27 時間	94 人	簡単おもてなし教室、ねんど細工教室
根 城	15 時間	54 人	リフォームソーイング講座
三八城	27 時間	161 人	デコパージュ教室、パワーストーン教室 他
江 陽	37 時間	116 人	裂織教室、三味線教室 他
長 者	35 時間	35 人	エコクラフト教室、ラペリスフラワー教室
田面木	26 時間	76 人	料理教室、骨盤ストレッチ教室 他
市 川	22 時間	91 人	パッチワーク教室、編み物教室 他
南 浜	17 時間	55 人	料理教室、手芸教室 他
根 岸	57 時間	299 人	キムチ教室、ステンドグラス教室 他
白銀南	30 時間	69 人	カルトナージュ教室、フラダンス教室 他
東	30 時間	114 人	糸かけアート教室、生け花教室 他
白山台	32 時間	134 人	服のリフォーム、正月飾り作り 他
南 郷	26 時間	53 人	着付け教室、リフォーム教室 他
瑞豊館	21 時間	48 人	洋裁教室、温活ストレッチ教室 他
計	705.5 時間	2,747 人	

○高齢者教室

教室名	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
小中野	28 時間	180 人	マスクケース作り、スポーツ吹矢 他
白銀	12 時間	119 人	モルック教室、健康チェック講座 他
鮫	12 時間	158 人	美術館見学、イスを使ったヨガ講座 他
上 長	26 時間	338 人	3B体操教室、歴史講演 他
柏 崎	18 時間	68 人	チェアエクササイズ、きり絵教室 他
大 館	10 時間	86 人	健康教室、ニューススポーツ教室 他
下 長	40 時間	337 人	健康教室、歴史教室 他
吹 上	22 時間	99 人	革工芸教室、レクリエーションダンス教室 他
湊	12 時間	76 人	写真鑑賞教室、転倒予防教室 他
是 川	23 時間	78 人	陶芸教室、健康マージャン教室 他
館	23 時間	42 人	お薬の話、初心者囲碁教室 他
根 城	21 時間	137 人	シナプソロジー講座、体のメンテナンス 他
三八城	31 時間	142 人	グラウンドゴルフ教室、寄せ植え教室 他
江 陽	18 時間	197 人	チェアエクササイズ、音楽鑑賞 他
長 者	12 時間	41 人	盆踊り教室、そば打ち教室
田面木	24 時間	129 人	グラウンドゴルフ、シナプソロジー講座 他
市 川	22 時間	228 人	園児とのふれあい、太極拳教室 他
南 浜	12 時間	48 人	レクリエーション
根 岸	22 時間	197 人	卓球教室、簡単エアロビ・ストレッチ教室 他
白銀南	12 時間	78 人	盆踊り教室、カローリング教室
東	16 時間	95 人	ミニ盆栽教室、南部弁トークライブ 他
白山台	24 時間	100 人	書道講座、手芸教室 他
南 郷	10 時間	58 人	歴史教室、レクリエーション運動 他
瑞豊館	24 時間	109 人	スポーツ吹矢教室、楽々ストレッチ
計	474 時間	3,140 人	

○市民学校

教室名	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
小中野	20 時間	103 人	一閑張り教室、杏の甘酢漬け教室 他
白 銀	42 時間	183 人	筋膜リリース教室、裂織教室 他
鮫	20 時間	175 人	踊り・正調八戸小唄、野草観察教室
上 長	20 時間	66 人	管理薬剤師による講演、落語講演 他
柏 崎	32 時間	70 人	漬物教室、パン作り教室 他
大 館	22 時間	131 人	手芸教室、歴史教室
下 長	28 時間	154 人	タイルクラフト教室、麺打ち教室 他
吹 上	24 時間	191 人	料理教室、終活講座 他
湊	26 時間	118 人	骨盤体操教室、ラージボール卓球教室 他
是 川	31 時間	106 人	編みもの教室、アレンジメントフラワー教室 他
館	18 時間	65 人	陶芸教室、ステンドグラス教室 他
根 城	16 時間	55 人	まゆ玉教室、布ぞうり作り 他
三八城	19 時間	55 人	手芸教室、ミニ盆栽教室 他
江 陽	30 時間	175 人	健康教室、ウクレレ教室 他
長 者	16 時間	66 人	菊づくり教室
田面木	24 時間	108 人	水墨画教室、つぼの押し方教室 他
市 川	14 時間	30 人	藍染教室、ロザフィ教室 他
南 浜	7 時間	26 人	ヨガ教室、卓球教室 他
根 岸	53 時間	388 人	シニア楽々運動教室、歴史講座 他
白銀南	12 時間	32 人	切り絵教室、温活ストレッチ教室
東	28 時間	132 人	美文字教室、カラダの学校 他
白山台	4 時間	58 人	バトントワリング、医師の講演 他
瑞豊館	13 時間	34 人	パン作り教室、一閑張り教室 他
計	519 時間	2,521 人	

○家庭教育学級

学級名	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
小中野	32 時間	377 人	子ども習字教室、子どもパソコン教室 他
白 銀	20 時間	152 人	工作教室、絵画教室 他
鮫	21 時間	113 人	フィットネスフラ、英語であそぼ！ 他
上 長	14 時間	101 人	ベビービクスストレッチ、子どもレジン教室 他
柏 崎	16 時間	99 人	なぞかけと読み聞かせ教室、子どもダンス教室 他
大 館	46 時間	1,183 人	ランタン作り教室、防災教室 他
下 長	18 時間	106 人	ベビーマッサージ教室、工作教室 他
吹 上	8 時間	34 人	子どもパソコン教室、手づくりクラブ 他
湊	36 時間	200 人	寄せ植え教室、エコクラフト教室 他
是 川	6 時間	27 人	子どもサンドアート教室、子どもポーセラーツ教室
館	15 時間	110 人	ビー玉迷路作り、棒パン作り 他
根 城	25 時間	157 人	ベビースキンシップ教室、紙芝居 他
三八城	10 時間	92 人	子ども工作教室、郷土かるた大会 他
江 陽	17 時間	65 人	お菓子作り、プログラミング 他
長 者	6 時間	18 人	工作教室
田面木	20 時間	166 人	こどもシナプソロジー、おこと教室 他
市 川	10 時間	78 人	未就園児親子ふれあい教室、木工教室 他
南 浜	8 時間	70 人	しめ飾り教室、ミニミニ水族館 他
根 岸	32 時間	188 人	アウトドアで防災教室、体操教室 他
白銀南	6 時間	23 人	子どもパソコン教室、子ども工作教室 他
東	14 時間	149 人	ニュースポーツ教室、HIP HOP教室 他
白山台	23.5 時間	170 人	ベビーマッサージ、アート入門
南 郷	6 時間	40 人	陶芸教室、ジャンボかるた取り
瑞豊館	2 時間	23 人	子どもパン作り教室
計	424.5 時間	3,831 人	

○移動公民館

教室名	開催場所	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
上 長	笹ノ沢生活館 他	8 時間	36 人	健康体操教室
大 館	松館集会所 他	8 時間	24 人	手芸教室
南 浜	白浜生活センター 他	18 時間	120 人	そば打ち教室、レクダンス 他
南 郷	市野沢共有財産集会所 他	20 時間	83 人	ストレッチ、羽子板作り 他
瑞豊館	豊崎小学校体育館	1 時間	72 人	えんぶり鑑賞
計		55 時間	335 人	

○市民 I T 講習会

学級名	学習時間	参加人数(延べ)
小中野	15 時間	63 人
白 銀	8 時間	26 人
鮫	12 時間	25 人
上 長	8 時間	22 人
柏 崎	12 時間	24 人
大 館	7 時間	23 人
下 長	14 時間	40 人
吹 上	12 時間	48 人
湊	10 時間	19 人
是 川	9 時間	28 人
館	6 時間	37 人
根 城	9 時間	24 人
三八城	16 時間	44 人
江 陽	15 時間	47 人
長 者	4 時間	6 人
田面木	12 時間	26 人
市 川	10 時間	42 人
南 浜	3 時間	6 人
根 岸	12 時間	33 人
白銀南	12 時間	36 人
東	12 時間	30 人
白山台	12 時間	35 人
南 郷	6 時間	11 人
瑞豊館	6 時間	12 人
計	242 時間	707 人

文化財グループ 主要事業

[illegible]

史跡等標示事業	歴史的由緒ある地名、場所等への説明板、標柱の設置・修繕等	大慈大悲開迷霊石碑説明版設置
民俗芸能のタベ開催事業	民俗芸能の保存・伝承を図るため、発表会を開催	第45回民俗芸能のタベ 開催日：12月3日（土） 場 所：八戸市公会堂ホール 出演団体：島守小学校神楽クラブ ・島守神楽保存会 糠塚えんぶり組 正調八戸盆踊保存会 白銀四頭権現神楽保存会 出演者数：122名 入場者数：256名
無形民俗文化財後継者養成事業	民俗芸能団体の保存継承に資する活動経費への一部補助 ※新型コロナウイルス感染拡大により活動停滞を余儀なくされた団体に対しては補助拡充	八戸騎馬打毬会、轟神社法霊神楽保存会 補助拡充：鮫神楽保存会ほか、7団体
八戸三社大祭ユネスコ無形文化遺産登録PR事業	ユネスコ無形文化遺産である八戸三社大祭に係る各種周知活動を通じて、文化財の恒久的な保護を図る。 ・小学生向け副読本の配付 ・全国山・鉦・屋台保存連合会総会出席 ・東北山・鉦・屋台協議会総会出席	市内全小学4年生（一部3年生）に配布 （印刷部数2,000部） 10月22日（土） 9月17日（土）
文化財の保存・活用事業	・八戸地方えんぶり調査事業（～R8年度） ・山車人形衣装修復経費の一部補助（～R6年度） ・櫛引八幡宮危険木伐採経費の一部補助	組個別調査、補足調査等 八戸三社大祭山車祭り行事保存会 宗教法人櫛引八幡宮
八戸圏域文化財魅力発信事業	八戸圏域連携中枢都市圏8市町村による文化財の面的活用を通じ、文化財の魅力向上及び保護保全への理解深化を図る。	8市町村42種類の文化財バトルカードの作成

◎国指定文化財

文化財保護法

昭和25年5月30日
平成26年6月13日法律第214号
最終改正

国宝

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者
工 芸	赤糸威鎧 兜、大袖付 附唐櫃	1領	昭 28. 11. 14	大字八幡字八幡丁	櫛 引 八 幡 宮
	白糸威棲取鎧 兜、大袖付 附唐櫃	1領	昭 28. 11. 14	〃	〃
考 古	土偶(青森県八戸市風張1遺跡出土)	1箇	平 21. 7. 10	大字是川(是川縄文館)	八 戸 市

重要文化財

建 造 物	清水寺観音堂 附棟札3枚	1棟	昭 55. 1. 26	大字是川字中居	清 水 寺
	櫛引八幡宮本殿、旧拝殿、末社神明宮本殿、末社春日社本殿、南門 附鰐口	5棟	平 5. 4. 20	大字八幡字八幡丁	櫛 引 八 幡 宮
工 芸	紫糸威肩白浅黄鎧 兜、大袖付	1領	昭 25. 8. 29	〃	〃
	唐櫃入白糸威肩赤胴丸 兜、大袖付	1領	昭 25. 8. 29	〃	〃
	兜 浅黄威肩赤大袖二枚付	1頭	昭 25. 8. 29	〃	〃
考 古	青森県是川遺跡出土品	963点	昭 37. 2. 2 平 23. 6. 27	大字是川(是川縄文館)	八 戸 市
	青森県風張1遺跡出土品	663箇	平 9. 6. 30	〃	〃
	青森県丹後平古墳群出土品	195点	平 30. 10. 31	根城字東構(博物館)	〃
	青森県櫛引遺跡出土品	83点	令 5. 6. 27	〃	〃

民俗文化財

重 要 有 形 民 俗 文 化 財	八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋	1,383点 1棟	平 5. 4. 15	大字鮫町字大作平 大字根城(八戸市博物館)	八 戸 市
重 要 無 形 民 俗 文 化 財	八戸のえんぶり		昭 54. 2. 3	八戸市・三戸郡	八戸地方えんぶり連合協議会
	八戸三社大祭の山車行事		平 16. 2. 6	八戸市	八戸三社大祭山車保存会

史跡・名勝・天然記念物

史 跡	根城跡 (18.5万㎡)		昭 16. 12. 13 平 23. 2. 7	大字根城、根城八丁目	八 戸 市
	是川石器時代遺跡 (21.9万㎡)		昭 32. 7. 1 平 16. 9. 30 平 25. 10. 17 平 28. 10. 3	大字是川	〃
	長七谷地貝塚 (3万㎡)		昭 56. 5. 25	桔梗野工業団地三丁目	〃
	丹後平古墳群 (7,000㎡)		平 11. 1. 14	南白山台一丁目	〃
名 勝	種差海岸 (880万㎡)		昭 12. 12. 21	大字鮫町	〃
天然記念物	蕪島ウミネコ繁殖地 (1.8万㎡)		大 11. 3. 8	大字鮫町字鮫	〃

重要美術品

書 跡	徳川家康自筆日課念仏	1巻	昭 8. 10. 31	十六日町	天 聖 寺
	徳川家康自筆日課念仏	1巻	昭 8. 12. 14	西白山台五丁目	個 人
	徳川家康自筆日課念仏	1巻	昭 8. 12. 14	十八日町	個 人

登録文化財

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者
有形文化財	旧河内屋橋本合名会社	1棟	平 10. 12. 25	八日町	株 式 会 社 大 正 ロ マ ン
	更上閣主屋	1棟	平 15. 10. 17	本徒士町	八 戸 市
	更上閣門	1棟	平 15. 10. 17	〃	〃
	新むつ旅館本館	1棟	平 19. 5. 29	小中野六丁目	個 人
	旧島守発電所本館	1棟	平 21. 11. 19	南郷大字島守字持金沢	八 戸 市
	旧島守発電所水槽	1基	平 21. 11. 19	〃	〃
	旧島守発電所水圧鉄管路	1所	平 21. 11. 19	〃	〃
	旧島守発電所余水路	1所	平 21. 11. 19	〃	〃
	八戸酒造店舗兼主屋	1棟	平 22. 9. 10	大字湊町字本町	個 人
	八戸酒造北蔵	1棟	平 22. 9. 10	〃	〃
	八戸酒造文庫蔵	1棟	平 22. 9. 10	〃	〃
	八戸酒造西藏	1棟	平 22. 9. 10	〃	〃
	八戸酒造煉瓦蔵	1棟	平 22. 9. 10	〃	〃
	八戸酒造煉瓦塀	1棟	平 22. 9. 10	〃	〃

県重宝

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者
建 造 物	八戸城角御殿表門 附棟札3枚 毘沙門天像1軀	1棟	昭 56 . 4 . 18	内丸三丁目 大字根城(八戸市博物館)	八 戸 市
	南宗寺山門	1棟	平 3 . 3 . 13	長者一丁目	南 宗 寺
	新羅神社本殿、拜殿	2棟	平 3 . 3 . 13	長者一丁目	新 羅 神 社
	旧八戸小学講堂	1棟	平 3 . 3 . 13	大字八幡字八幡丁	櫛 引 八 幡 宮
	大慈寺(松館)山門 附棟札1枚	1棟	平 21 . 2 . 18	大字松館字古里	大 慈 寺 (松 館)
	対泉院山門	1棟	平 29 . 8 . 16	大字新井田字寺ノ上	対 泉 院
	大慈寺(糠塚)本堂、山門、経蔵	3棟	平 30 . 8 . 20	長者一丁目	大 慈 寺 (糠 塚)
工 芸	鎧櫃	1個	昭 31 . 5 . 14	大字中居林字彦五郎	個 人
	日本刀 銘 奥観寿藤原吉廣	1口	昭 43 . 4 . 5	大字根城(八戸市博物館)	八 戸 市
	鰐口 応永十二年銘	1口	昭 46 . 9 . 6	大字八幡字八幡丁	櫛 引 八 幡 宮
	日本刀 銘 備州長船幸光	1口	昭 46 . 9 . 6	〃	〃
	菊牡丹唐草轡十字紋蒔絵漆器	13点	平 18 . 2 . 1	大字根城(八戸市博物館)	八 戸 市
	唐草南部鶴紋蒔絵漆器	12点	平 18 . 4 . 19	〃	〃
	南部鶴紋蒔絵漆器	7点	平 18 . 4 . 19	〃	〃
彫 刻	舞楽面	9面	昭 46 . 9 . 6	大字八幡字八幡丁	櫛 引 八 幡 宮
書 跡	新編文林全集	1部 10冊	昭 31 . 5 . 14	大字番町	個 人
歴 史 資 料	湊家文書	11通	昭 47 . 4 . 6	大字根城(八戸市博物館)	八 戸 市
	天保三辰ヨリ七カ年凶作日記 (内題「市川日記」)	1巻	平 8 . 5 . 22	旭ヶ丘四丁目	個 人
	遠山家日記	111点	平 28 . 8 . 15	大字糠塚(八戸市立図書館)	八 戸 市
	刊本自然真営道	3巻	令 5 . 4 . 12	〃	〃
考 古 資 料	縄文式甕形土器	1個	昭 31 . 5 . 14	大字根城(八戸市博物館)	〃
	縄文式土器	1個	昭 34 . 10 . 6	〃	清 水 寺
	縄文式板状土偶	1個	昭 47 . 4 . 6	〃	〃
	鹿島沢古墳群出土品(一括)	27点	平 14 . 4 . 17	〃	八 戸 市

民俗文化財

県 無 形 民 俗 文 化 財	南部駒踊		昭 34 . 10 . 6	大字河原木	高 館 駒 踊 組
	加賀美流騎馬打毬		昭 47 . 3 . 15	八戸市	八 戸 騎 馬 打 毬 会
	鮫の神楽		昭 55 . 10 . 21	大字鮫町	鮫 神 楽 連 中
	法霊神楽		昭 61 . 2 . 4	内丸二丁目	靄 神 社 法 霊 神 楽 保 存 会

記念物

県 史 跡	八戸南部家墓所		昭 30 . 1 . 7	長者一丁目	南 部 家 ・ 南 宗 寺
	一里塚	1基	昭 36 . 6 . 10	大字十日市(八戸公園)	八 戸 市
	餓死萬霊等供養塔及び戒壇石	2基	昭 63 . 1 . 16	大字新井田字寺ノ上	対 泉 院
	一里塚	1基	昭 37 . 6 . 29	南郷頃巻沢字長久保	八 戸 市
	一里塚	2基	昭 37 . 6 . 29	南郷市野沢字新田 南郷中野字大久保	〃
	一里塚	2基	昭 37 . 6 . 29	南郷大森字砂子崎 南郷大森字林崎後	〃
県天然記念物	カヤの木	1本	昭 42 . 1 . 11	南郷大字島守字門前	高 松 寺

有形文化財

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者
建 造 物	小田八幡宮仁王門	1棟	昭 48 . 1 . 24	大字河原木字小田	小 田 八 幡 宮
	旧八戸城東門	1棟	平 5 . 6 . 3	大字根城(根城の広場)	八 戸 市
絵 画	八戸二十景屏風	4曲1隻	昭 34 . 9 . 15	大字番町	個 人
	名花十二客図屏風	6曲1双	平 10 . 6 . 23	大字根城(八戸市博物館)	八 戸 市
彫 刻	阿弥陀如来像	1軀	昭 48 . 4 . 13	大字新井田字坂	浄 生 寺
	地藏菩薩像	6軀	昭 48 . 4 . 13	大字妙字東	伝 昌 寺
	地藏菩薩像	1軀	昭 48 . 4 . 13	大字松館字古里	大 慈 寺
	毘沙門天像	1軀	昭 48 . 4 . 13	大字河原木字小田	小 田 八 幡 宮
	五智如来像	1軀	昭 48 . 4 . 13	上野地区	上 野 町 内 会
	地藏菩薩像	1軀	昭 48 . 4 . 13	大字湊町字上ノ山	十 王 院
	魚籃観音菩薩像	1軀	昭 48 . 4 . 13	小中野六丁目	常 現 寺
	地藏菩薩像	1軀	昭 48 . 4 . 13	大字朔日町	来 迎 寺
	大黒天像	1軀	平 20 . 9 . 1	大字尻内町字三条目	個 人
工 芸	海有鞍・両咲鍔及び障泥	和鞍1式	昭 34 . 9 . 15	大字番町	個 人
	千両箱	1個	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	御拝領御鏡	1個	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	杉戸・桐戸	15枚・2枚	昭 39 . 12 . 5	長者一丁目	南 宗 寺
	二十五条袈裟	1肩	昭 39 . 12 . 5	〃	〃
	青銅擬宝珠	8個	昭 54 . 9 . 6	大字八幡字八幡丁	櫛 引 八 幡 宮
	本小札勝色威二枚胴具足・附具足櫃	1領	昭 56 . 4 . 28	内丸一丁目	三 八 城 神 社
	旧八戸藩主軍装用具	1式	昭 56 . 4 . 28	〃	〃
	梨子地螺鈿金装太刀	1口	昭 56 . 4 . 28	〃	〃
	日本刀 銘 精壮斎宗有	1口	昭 61 . 2 . 21	大字根城(八戸市博物館)	八 戸 市
書 典 古 文 跡 籍 書	八戸藩領内境塚大絵図	1部	昭 34 . 9 . 15	大字番町	個 人
	八戸城内図(古御殿御絵図面)	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	八戸城内図(新規御普請御殿御絵図面)	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	八戸藩政時代市街図(八戸藩城下町図)	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	陸奥国三戸郡八戸町全図	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	八戸藩初代直房公領地御拝領之節御礼御奉書	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	八戸藩二代直政公御家督之節御礼御奉書	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	八戸藩二代直政公御遺訓(直政書)	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	奥南温古集	10冊	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	写経紺紙金泥法華經一部	8卷	昭 48 . 1 . 24	大字是川字白幡	福 善 寺
	福土文書	11通	昭 48 . 1 . 24	類家二丁目	個 人
	八戸藩日記	560冊	平 10 . 1 . 14	大字糠塚(八戸市立図書館)	八 戸 市

有形文化財

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者
書跡 典籍 古文書	真法弟算記	2巻	平 14. 1. 24	大字糠塚(八戸市立図書館)	八 戸 市
	諸国神社仏閣掛所算術	1冊	平 14. 1. 24	大字根城(八戸市博物館)	〃
歴史資料	欄間	2間	昭 48. 1. 24	大字根城(八戸市博物館)	個 人
	和算用算木	2組	昭 48. 1. 24	長者一丁目 大字根城(八戸市博物館)	南 宗 寺 八 戸 市
	算額	1枚	昭 48. 1. 24	長者一丁目	南 宗 寺
	万年暦	1枚	昭 48. 1. 24	大字根城(八戸市博物館)	霨 神 社
	乙因追善俳諧献額	1双	昭 54. 1. 19	大字鮫町字鮫	浮 木 寺
	千風庵百々評俳諧献額	1双	昭 54. 1. 19	大字河原木字小田	小 田 八 幡 宮
	千石船万徳丸図	1幅	昭 56. 4. 28	大字根城(八戸市博物館)	個 人
	鬼瓦	3個1式	平 5. 6. 3	大字鷹匠小路	〃
	五梅庵畔李公「国光の発句」献額	1枚	平 17. 11. 1	長者一丁目	長者山新羅神社

無形文化財

無形文化財	八戸藩伝神道無念流居合		平 3. 10. 14	大字糠塚	神 道 無 念 流 居 合 保 存 会
-------	-------------	--	-------------	------	------------------------

民俗文化財

無 形 民 俗 文 化 財	泉清水えんぶり		昭 53. 4. 1	南郷大字泉清水	個 人
	中野神楽		昭 53. 4. 1	南郷大字中野	〃
	大平大神楽		昭 53. 4. 1	〃	〃
	島守小学校神楽		昭 53. 4. 1	南郷大字島守	島 守 小 学 校 長
	島守駒踊		平 11. 7. 1	〃	個 人
	島守虎舞		平 15. 12. 5	〃	〃
	白銀四頭権現神楽		平 28. 6. 1	大字白銀町	白 銀 四 頭 権 現 神 楽 保 存 会
	八太郎おしまこ		平 30. 8. 1	八太郎地区	八 太 郎 お し ま こ 保 存 会
有 形 民 俗 文 化 財	清水寺奉納絵馬	51枚	昭 48. 1. 24	大字根城(八戸市博物館)	清 水 寺
	太公望と屋台一式	1体1台1枚	平 15. 7. 29	内丸二丁目	霨 神 社
	武田信玄と屋台一式	1体1台1枚	平 15. 7. 29	〃	〃
	享保六年記年銘鉢先	1振	平 15. 7. 29	〃	〃
	神功皇后と武之内宿禰	2体1枚	平 15. 7. 29	大字根城(八戸市博物館)	八 戸 市
	為朝と嶋人	3体、1体	平 15. 7. 29	〃	〃

記念物

史 跡	敷石供養塔	1基	昭 48. 1. 24	長者一丁目	禅 源 寺
天然記念物	杉の木	3本	昭 48. 1. 24	大字豊崎町字上永福寺	七 崎 神 社
	イチイの木	1本	平 4. 1. 31	南郷大字市野沢字黄檗	忠 魂 碑 管 理 者
	クリの木	1本	平 4. 1. 31	南郷大字市野沢字林合	稻 荷 神 社
	モミの木	3本	平 4. 1. 31	南郷大字島守字内山	個 人
	イチイの木	1本	平 4. 1. 31	南郷大字島守字大波	〃
	アカマツの木	1本	平 6. 1. 31	南郷大字大森字黒坂	個 人

◇教育総務課

主要事業

事業名	内容	令和4年度実績
学校施設開放事業	学校教育に支障のない範囲で地域住民のスポーツ・レクリエーション及び学習文化活動のために学校施設を開放し、地域住民が気軽に学べる環境づくりと地域に開かれた学校づくりを進める。	実施校 54校 ・小学校 37校 ・中学校 17校

◇学校教育課

主要事業

事業名	内容	令和4年度実績
よい歯のコンクール	八戸歯科医師会との共催（年1回）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
手づくり弁当の日	食育の一環として、小・中学校で弁当持参を実施（年2回）	6月6日・10月3日
学校給食・食育活動見学会	食育の一環として、小・中学校教職員及び学校給食関係者が参観する学校給食・食育活動見学会の開催（年1回）	11月28日：南郷小学校
中学校体育大会派遣補助金	東北大会以上の中学校体育大会に出場する生徒の派遣費を補助	中学校体育大会選手派遣事業補助金 ・夏季東北大会 40名(7校) ・夏季全国大会 8名(4校) ・冬季東北大会 34名(6校) ・冬季全国大会 58名(8校)
児童生徒文化活動促進費補助金	文化活動団体の運営費等、及び県大会以上の文化活動に参加する児童生徒の派遣費を補助	運営費等補助金 ・八戸地区吹奏楽連盟 ・八戸市中学校文化連盟 派遣費補助金 交付先：11校 補助対象人数：275人

◇教育指導課

主要事業

事業名	内容	令和４年度実績
地域密着型教育推進事業	・地域学校連携協議会の設置 ・コーディネーターの配置 ・学校支援ボランティアの推進	全小・中学校で実施 コーディネーター 129人（兼務含む） 学校支援ボランティア 38,229人（累計）
青少年海外派遣交流事業	・アメリカ・ニューカレドニア・中国への中学生派遣 ・ポートランドインターナショナルスクール児童、中国蘭州市交流団の受入れ	令和４年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため交流事業中止
南部藩ゆかりの都市との交流事業	・八戸市少年使節団派遣 ・遠野市少年使節団受入れ	令和４年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため交流事業中止
指導者研修事業	・少年団体育成指導者の派遣 ・指導者養成講座の開催	年10回 年１回
勤労青少年ホーム管理運営事業	・勤労青少年のための余暇活動支援、教養講座の開設	通年講座 98回 短期講座 10回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和４年１月24日～４月10日の間、臨時休館。
青少年関係団体補助金	・八戸市青少年健全育成「愛の一声」市民会議補助金 ・八戸市青少年生活指導協議会連合会補助金	補助金額 240千円 補助金額 210千円

勤労青少年ホーム（ジョイパーク八戸）

勤労青少年の保護及び福祉の増進を図り、もって中小企業の労働生産性の向上に資するため、昭和40年に開館した。

- ・所在地 八戸市沼館二丁目 13-20 TEL 22-8612
- ・利用方法 開館時間：午後1時～午後9時
休館日：日曜日、祝日、年末年始（12月28日から1月4日）
利用者：市内に勤務先のある概ね35歳以下の人
利用料：無料（講座などに参加する場合、実費の徴収もある）
利用手続：ホーム利用申請書に必要事項を記入のうえ、ホーム窓口へ提出

主要事業

主要事業	実施月	令和4年度実績
通年講座	4月～3月	・バレエストレッチ教室（33回） ・生花教室（33回）・茶道教室（32回）
短期講座	5月～7月	・初心者のためのヨガ教室（10回）
クラブ・サークル活動	4月～3月	・バスケットボール・バレーボール・バドミントン・空手 ・カポエイラ・社交ダンス等

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年1月24日～4月10日の間、臨時休館。

利用状況（令和4年度 年間利用人数 5,746人）

ホーム主催事業				クラブ活動等団体利用				個人利用	
講座		その他		クラブ活動		その他			
回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	人数
108	437	0	0	321	3,254	0	0	303	2,055

◇八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

基本方針

是川遺跡や風張 1 遺跡などを通して、東北地方の優れた縄文文化を発信する。

市内の埋蔵文化財の調査・研究及び出土文化財の整理・収蔵を行うとともに、発掘調査記録などの積極的な公開活用と適切な保存管理を図る。

主要事業

事業名	内容	令和 4 年度実績
市内遺跡発掘調査	一王寺遺跡内容確認調査 雷遺跡 松ヶ崎遺跡	340 m ² 584 m ² 2,200.00 m ²
発掘調査受託事業	八戸城跡 笹ノ沢（1）遺跡ほか 3 遺跡	480.0 m ² 26,366 m ²
埋蔵文化財の保存・活用事業	企画展「是川遺跡の鉢形土器」 是川遺跡出土品保存修理事業 収蔵資料データベース化	土器5点、漆製品10点、石製品2点、 骨角製品8点、計25点実施
是川縄文の里整備事業	縄文遺跡群パネル展開催 是川縄文館草刈等業務 史跡整備 是川縄文館「研究紀要」刊行 是川縄文館「年報」刊行	本館・八戸市庁別館 計 2 回開催 是川遺跡・分館等年 3 回実施 整備検討委員会の設置、会議 2 回開催
是川縄文館特別展等開催事業	是川縄文館特別展 「行きかう土器とヒト」 秋季企画展「食と縄文人」 冬季企画展「縄文・かたちの美 -是川 遺跡の皿形土器-」	埋蔵文化財ニュース刊行 夏季特別展・秋季企画展図録刊行

施設概要

是川縄文館は、新設した建物を本館、既設の八戸市縄文学習館を分館とし、一体の施設として位置付ける。本館では、是川遺跡、風張 1 遺跡などの発掘成果をふまえた展示や体験交流事業と、市内の埋蔵文化財調査、整理保存、収蔵展示などの業務を実施する。

- ・所在地 八戸市大字是川字横山 1 TEL 38-9511 / FAX 96-5392
- ・構造 1 階鉄筋コンクリート造＋2 階鉄骨造
- ・敷地面積 13,752.55m²
- ・建築面積 2,602.98m²
- ・延床面積 4,593.82m²
- ・利用方法 開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時30分まで）
休館日 月曜日（祝日・振替休日を除く）、
祝日の翌日・振替休日の翌日（土・日・祝日を除く）
12月27日～1月4日

・観覧料等

		一般	高校生 大学生	小・中学生
是川縄文館 (本館)	個人	250 円	150 円	50 円
	団体 (20 人以上)	130 円	80 円	30 円

※特別展期間中は料金が変わる場合があります。

市内の小中学生は無料。障がい者・市内の 65 歳以上の方などは半額。

※令和 5 年度より中学生以下無料。

・利用状況 (令和 4 年度 年間入館者 合計 30,358 人)

開館 日数	入館者 (人)	個人				団体				免除(市内 小・中学生)	講座・ ボラン ティア 等	減免
		一般	高校生 大学生	小・中学生	計	一般	高校生 大学生	小・中学生	計			
313	30,358	15,512	491	1,137	17,140	1,402	57	687	2,146	4,946 (1,700)	4,479	1,647

・教育普及

特別展考古学講座		8 月 6 日 (1 回)
企画展考古学講座		11 月 5 日 (1 回)
遺跡調査報告会		11 月 13 日 (1 回)
考古学講座		5 月 14 日～2 月 11 日 (6 回)
体験学習	縄文時代の布を編む講座	9 月 3 日 (1 回)
	縄文土器作り講座	10 月 15 日、10 月 22 日、3 月 25 日 (3 回)
ボランティアによる体験教室		5 月 3 日～3 月 4 日 (6 回)
ボランティアによる体験学習指導		縄文体験コーナー開設 (39 回)
火おこし、滑石の勾玉作り、琥珀の勾玉作り		4 月 10 日～3 月 26 日の各日曜日
		※4/10～4/24, 7/17 は新型コロナのため中止 ※10/9, 11/27 は他のイベントのため中止
これかわ考古学クラブ		5 月 28 日～2 月 4 日 (7 回)

・サポートスタッフ研修会

サポートスタッフ研修会 (5～6 月)	5 月 7 日～6 月 25 日 (6 回)
サポートスタッフ研修会 (1～2 月)	1 月 21 日～2 月 25 日 (6 回)

是川縄文館 分館 (縄文学習館)

※史跡工事事業により、令和 2 年 7 月から第 1 期整備工事完了まで休館中

◇総合教育センター

主要事業

事業名	内容	令和4年度実績
市民英会話教室	市民に国際化に対応した学習機会を提供し、生涯学習の一環としての英語能力・コミュニケーションの育成を図るために、市民英会話教室を開催する。 ・年2回（1日ずつ）開催	・受講者数 63人
市民パソコン教室	市民に生涯学習の一環として、情報化社会に対応する学習の機会を提供するために、市民パソコン教室を開催する。 ・年2回開催（各2日間の日程）	・受講者数 32人
市民プログラミング教室	市民に生涯学習の一環として、情報化社会に対応する学習の機会を提供するために、市民プログラミング教室を開催する。 ・年1回開催	・受講者数 6人
教育メディア利用促進事業	教育メディアの利用及び普及を図る。 ・三八地方1市5町1村で構成する協議会（事務局は八戸市に置く）で運営する。 ・視聴覚ライブラリーの教材・教具は、視聴覚センターのものと共同管理する。 ・購入した教材・教具は、児童科学館で貸出する。	・各町村からの視聴覚教材購入負担金は、八戸市が幹事自治体となり、教育メディア利用促進事業の中に組み込まれ、教材の整備充実にあてる。 ・購入金額 1,347,665円 ・購入本数 29本
青少年のための科学の祭典 八戸大会	児童生徒に科学のおもしろさと不思議さを体験してもらい、科学する心の育成を図ることを目的として、2日間開催する。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小して開催 ・来場者数 781人
視聴覚センター・児童科学館運営	指定管理者による管理運営 指定期間 第1期：平成21年度～23年度 第2期：平成24年度～28年度 第3期：平成29年度～令和3年度 第4期：令和4年度～8年度 ＜事業内容＞ ・視聴覚教材教具貸出し ・プラネタリウム上映 ・科学、天文、ものづくり等の各種催し ・展示コーナーの運営	・入館者数 45,712人 ・プラネタリウム 観覧者数 9,946人 (令和4年度末現在)

〔視聴覚センター・児童科学館〕

視聴覚センター・児童科学館は、視聴覚教材の制作・貸出し・研修を行うとともに、楽しみながら科学に興味をもって学習できる施設として、学校教育・社会教育に側面から援助することを目的としている。

◎指定管理者：三八五ふれあいネット

(指定期間：平成21年度～平成23年度、平成24年度～平成28年度、平成29年度～令和3年度、令和4年度～令和8年度)

昭和55年10月に開館

- ・所在地 八戸市類家四丁目 3-1 TEL 45-8131 / FAX 45-8132
- ・総建物面積 約 1,809㎡
- ・利用方法 開館時間 午前8時30分～午後5時
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日

施設利用	使用許可申請書提出
機材利用	使用許可申請書提出 スタジオ等の使用は、視聴覚教育講座修了者に限る
研修会・講座	申込書(先着順しめきり)
クラブ・教室	申込書(先着順しめきり)
視聴覚ライブラリー	電話等で予約、使用時申請書の提出、16mm映写機等の使用は修了証所持者
プラネタリウム	一般投影(団体は電話申込、観覧料別表) 学習投影・幼児投影(電話申込、保育園・幼稚園、小・中学校学童保育等は減免申請) 一般団体(電話申込、観覧料別表)

・プラネタリウム観覧料

	一般・大学生	シニア	高校生	中学生	小学生以下	※土・日・祝日は、 八戸市内の中学生は無料
個人	250 円	130 円	150 円	50 円	無料	※ シニアは、八戸市内在住の 65歳以上が対象
※ 団体	130 円	130 円	80 円	30 円	無料	※ 団体は20人以上

・利用状況(令和4年度)

開館 日数	入館者数 (人)	プラネタリウム 観覧者数	プラネタリウム団体利用状況(件数)							
			利用団体計	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高校等	学校諸団体	子ども会	その他
306日	45,712人	9,946人	84	43	21	0	0	0	0	20
施設利用状況(件数)										
スタジオコントロール室	視聴覚室	実習室	講義室	天体観測室/屋上	図書室					
0	179	38	18	106	4					

主要事業

(1) 催し・教室・クラブ

No.	名 称	令和4年度実績
1	青少年のための科学の祭典	8月6日(土)7日(日) / 781人
2	市民星空観望会	毎月第2・4土曜日 18:00～20:00(11月～2月 17:00～19:00) / 555人
3	楽しまナイト劇場	毎月第2・4土曜日 16:00～18:30 / 129人
4	おたのしみ劇場	毎週日曜日 14:00～15:00 / 374人
5	移動天文教室	夜間適時(会場は申込校) / 287人
6	わくわくサイエンス	年間9回 1時30分程度 / 461人
7	夏休み図工教室	7月30日(土) 10:00～15:30 / 40人

8	冬休み図工教室	12月24日（土）10:00～15:30 /32人
9	親子パソコン教室	1月10日（火）～12日（木） 13:30～16:30 /29人
10	少年少女発明クラブ	5月～3月（第1・3日曜日）/681人
11	天文クラブ	6月～3月（第2土曜日）/222人

（2）研修会・講座

No.	研修・講座名	令和4年度実績
1	視聴覚担当者連絡会	資料郵送
2	教育メディア研修講座（1）	開催せず
3	教育メディア研修講座（2）	5月28日（土）13:30～16:30、29日（日）9:00～12:00 /4人
4	映像利用学習会	1月28日（土）10:00～12:00 /21人
5	小・中学校アナウンス講習会	中止

〔視聴覚ライブラリー〕

事業概要

1 基本方針

- （1）視聴覚施設設備の充実を図り、その利用を促進し、市民のすぐれた知性と豊かな人間性の高揚をめざす。
- （2）児童生徒に視聴覚的な方法で学習させることにより、興味・意欲を喚起し、学習効果の向上に努める。
- （3）視聴覚的な教育方法の研究開発をすすめ、情報の提供活動を推進する。

- ・利用方法 三八管内の7市町村の共同運営で、DVD等の視聴覚教材を購入し、学校教育、社会教育の利用に供するものである。
- ・使用料は無料とする。
- ・営利を目的としない。
- ・16mm映写機の使用は操作技術修了者が行う。16mm映写機は検定に合格したものを利用する。
- ・貸出し期間は、7日以内とする。
- ・利用状況（令和4年度）

	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高等学校等	社会教育	計
16mm映画利用本数	0	0	0	0	23	23
ビデオ利用本数	9	1	1	0	54	65
DVD	106	29	4	25	388	552

◇図書館

1 基本方針

- 図書館本館を中心として、分館・分室・移動図書館との連携を図りながら運営することにより、「いつでも」「どこでも」「だれでも」利用できる図書館を目指す。
- 市民一人ひとりが、生涯にわたって豊かで生きがいのある生活を送ることができるよう、「読むこと」「知ること」を支援するため、図書館資料の充実を図るとともに、さまざまな図書館サービスを展開し、利用促進に努める。

教育振興基本計画主要事業等

(1) 図書館の利用促進

子どもから大人まで、それぞれの世代が求める多種多様な資料の収集と広報活動の充実を図る。図書館本館・南郷図書館・図書情報センターの相互利用や、移動図書館の巡回、分室の運営などにより、市民が利用しやすい図書館づくりに努める。

(2) ブックスタート事業

検診の機会を利用して乳児と保護者に対して絵本の読み聞かせを行い、絵本等を贈ることで、親子で絵本に親しむきっかけをつくり、乳児と保護者が絵本を介して心触れ合うひとときを持てるように努める。

(3) 家庭の教育力充実事業

親子で学習する講座、図書館の特性を生かした講座を開催し、家庭における教育力の充実を図る。

(4) 「調べる学習コンクール」の開催

子どもたちの調べる力向上の一助となり、図書館の利用促進につながるよう、児童生徒を対象に、図書館の資料を使った調べる学習コンクールを開催する。

(5) 学校出前講座の開催

図書館職員が小・中学校へ出向き、学校図書館の図書整理や読み聞かせの仕方等について講座を開催し、図書に関する理解や関心を深めてもらう。

(6) 古文書の整理・解読

古文書を良好な状態で整理・保存するとともに、八戸藩の日記類の解読を進め、利用者が活用できるように努める。

(7) 歴史資料の収集・整理・保存・活用

八戸市の歴史に関する資料を収集し、また、市史編さん事業で収集した資料の目録を作成して、その成果の普及に努めるとともに、収集資料の保存・公開を行う。

2 主要事業

事業名	内容	令和4年度実績
図書館資料の充実	図書館資料を幅広く収集するとともに、良好な保存管理を行う。	購入（図書 10,277冊 視聴覚資料 240点）
資料の企画展示	図書館の資料に関心をもってもらうため、季節や時事に合わせた資料の企画展示を行う。	展示回数 69回
絵本等の読み聞かせ	ボランティア団体の協力により、読み聞かせを定期的に開催する。	開催回数 163回 参加者延べ 894人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4/1～4/22は中止。 毎月第4土曜日開催の「ちいさなこどものためのわらべうたと絵本の会」は全て中止。

読書週間行事	こどもの読書週間・秋の読書週間に、企画展示、おはなし会、講演会、朗読会、本と雑誌のリサイクルフェア等を開催する。	・こどもの読書週間 企画展示「ピーターラビット 出版120周年展」 ・秋の読書週間 企画展示「高森美由紀 作品展」 雑誌付録抽選会 付録 81点 応募 2,283件 ・本と雑誌のリサイクルフェア 来場者 358人 リサイクル冊数 5,749冊 ・春のおはなし会 参加者 23人 ・夏のおはなし会 参加者 29人 ・クリスマスのおはなし会 参加者 21人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会、朗読会は中止。
レファレンスサービス	調査・研究を援助し、相談に応じるレファレンス業務の充実に取り組む。	本館 1,784件 南郷 107件 図書情報センター 77件
図書館間の相互貸借	ネットワークシステム等を活用し、他図書館との資料貸借により、利用者の資料ニーズに対応する。	他館へ貸出 664冊 他館から借受 531冊
分館の運営	分館の南郷図書館及び図書情報センターの管理運営を、指定管理者により行う。	指定管理者：(株)図書館流通センター
移動図書館及び分室の運営	移動図書館車による定期巡回や、6分室の運営により、遠隔地域の貸出サービスの充実努める。	移動利用者数 6,545人 分室利用者数 4,149人
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	国立国会図書館のデジタル化資料184万点を、図書館の専用パソコンで閲覧・複写可能にする。	閲覧数 複写枚数 本館18人 264枚 南郷 1人 0枚 図書情報センター 4人 0枚
ブックスタート	総合健診センターで行われる先天性股関節脱臼検診時に、対象の親子に読み聞かせのボランティアが絵本の読み聞かせを行い、ブックスタートパックを配付。	配付 1,174組 ※新型コロナウイルス感染症対策として、5月まで、ボランティアによる絵本の読み聞かせを中止
調べる学習コンクール	児童生徒の調べる力向上の一助となるよう、図書館を使った調べる学習コンクールを開催する。	応募総数 25点
学校出前講座	学校図書館の図書の整理や修理、読み聞かせの仕方等について、小・中学校へ出向いて講座を行う。	開催回数 2回
体験！一日図書館員	児童生徒に、図書館をより知ってもらい本に親んでもらうため、図書館の仕事を体験する講座を開催する。	参加者 27人
障がい者等配送貸出サービス	心身の障害等により、図書館に来館が困難な方に、図書や雑誌を配送で貸出する。	登録者数 12人 利用者数 81人 貸出冊数 332冊

古文書の整理・解読	古文書を良好な状態で整理保存するとともに、八戸藩日記の解読本の作成を進める。	解読冊数 21冊
古文書解読講習会	郷土の歴史や古文書への知識を深めるため、古文書解読講習会を開催する。	全5回開催 参加者 13人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程を延期して実施
市民のための歴史講座	博物館と連携し、共通のテーマを設けて各館2回ずつ計4回の講座を開催する。	全2回開催 参加者 52人
市史双書の刊行	市史双書を刊行する。	「遠山家日記 第11巻」刊行

◎八戸市立図書館（本館）

- ・所在地 八戸市大字糠塚字下道2-1 TEL 22-0266 / FAX 71-1312
- ・総建物面積 約3,563㎡
- ・開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後7時
土曜日・日曜日・祝日 午前9時～午後5時
- ・休館日 毎月末日（館内整理日）、国民の祝日の翌日、年末年始（12月28日～1月4日）、年1回15日以内（図書整理期間）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和4年3月7日～4月10日までサービス制限付きで開館。
- ・貸出 図書・雑誌（最新号は除く） 1人8冊まで、15日以内
CD 1人2点まで、15日以内
- ・貸出できる方 八戸市内居住者、八戸市内通勤・通学者、青森県内共通利用券所持者、相互利用協定締結市町村の居住者、八戸圏域連携中枢都市圏内の居住者
- ・令和4年度統計蔵書数(冊)

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
24,581	17,385	44,764	61,308	20,493	26,759
産業	芸術	言語	文学	児童書	計
13,878	26,636	5,844	118,626	89,661	449,935

視聴覚資料所蔵数(点)

CD
5,251

貸出数(冊、点)

本館(図書・雑誌)	本館(CD)	移動図書館	分室(公民館等)	計
604,016	12,477	28,193	13,605	658,291

貸出利用者(人)

本館	移動図書館	分室(公民館等)	計
130,725	6,545	4,149	141,419

◎八戸市立南郷図書館（分館）

- ・所在地 八戸市南郷大字市野沢字中市野沢39-1 TEL 60-8100 / FAX 60-8130
- ・総建物面積 約1,937㎡
- ・開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後7時
土曜日・日曜日・祝日 午前9時～午後5時

- ・休館日 毎月末日(館内整理日)、国民の祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月4日)、年1回15日以内(図書整理期間)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和4年3月7日～4月10日までサービス制限付きで開館。
※館内の水漏れにより令和5年1月26日～1月31日まで臨時休館。
- ・貸出 図書・雑誌(最新号は除く) 1人8冊まで、15日以内
DVD・CD 1人2点まで、15日以内
- ・貸出できる方 八戸市内居住者、八戸市内通勤・通学者、青森県内共通利用券所持者、相互利用協定締結市町村の居住者、八戸圏域連携中枢都市圏内の居住者

・令和4年度統計

蔵書数(冊)

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
1,699	1,518	4,963	5,284	2,829	3,814
産業	芸術	言語	文学	児童書	計
1,694	3,845	765	14,515	22,011	62,937

視聴覚資料所蔵数(点)

DVD・CD
1,889

貸出数(冊、点)

一般書・雑誌	児童書	視聴覚資料	計
39,084	32,093	2,074	73,251

貸出利用者 14,757人

◎八戸市図書情報センター(分館)

- ・所在地 八戸市大字尻内町字館田1-1 八戸駅ビル1階 TEL 70-2600 / FAX 70-2601
- ・総建物面積 約314㎡
- ・開館時間 月曜日～金曜日 午前10時～午後8時
土曜日・日曜日・祝日 午前10時～午後6時
- ・休館日 毎月末日(館内整理日)、国民の祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月4日)、年1回15日以内(図書整理期間)
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和4年3月7日～4月10日までサービス制限付きで開館。
- ・貸出 図書・雑誌(最新号は除く) 1人8冊まで、15日以内
DVD・CD・ビデオ 1人4点まで、15日以内
- ・貸出できる方 八戸市内居住者、八戸市内通勤・通学者、青森県内共通利用券所持者、相互利用協定締結市町村の居住者、八戸圏域連携中枢都市圏内の居住者

・令和4年度統計

蔵書数(冊)

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
208	91	494	404	118	206
産業	芸術	言語	文学	児童書	計
114	193	71	1,055	3,182	6,136

視聴覚資料所蔵数(点)

DVD・CD・ビデオ
5,533

貸出数(冊、点)

一般書・雑誌	児童書	視聴覚資料	計
22,885	13,068	15,264	51,217

貸出利用者 12,795人

◇博物館

基本方針

八戸の風土から生まれ、先人達が守り育ててきた貴重な文化遺産を通じて、豊かな明日を考える。

主要事業

常設展	内容	
	考古展示室	八戸及び八戸周辺から発見された縄文、弥生、古代、中世の出土品を展示。
	歴史展示室	現在の八戸の基礎となった八戸藩二万石の誕生から明治維新までを藩主ゆかりの資料や市内旧家に伝わる古文書などで紹介。
	民俗展示室	八戸の人々が使用した道具類や一部復元した民家を展示し、漁業・農業・信仰などを紹介。
	無形資料展示室	八戸の民話、民謡、わらべ唄、方言、校歌などを紹介。

令和5年度事業内容		令和4年度実績
特別展	「業良キ物ー日本刀の歴史と八戸の刀工ー」 地元愛刀家たちの逸品と博物館資料から、日本刀が歩んできた歴史を紹介するとともに、八戸の郷土刀工と関連資料を取り上げ、郷土史を紐解きながら、その実像について考察します。（7月8日～8月27日）	「ナゲモノ拾いから始まったーハマの民俗と文化財ー」 （7月9日～8月28日） 入館者数 2,079人
	「J-mode 縄文の流儀」 八戸地域の縄文遺跡で見つかった数ある出土品のなかから、名宝といえるような優れた資料、八戸の縄文文化を語る上で欠かせない資料を選びすぐて紹介する。 （10月7日～11月26日）	「透明なうたかたーガラスびんに映った近現代ー」 （10月8日～11月23日） 入館者数 3,057人
企画展	「新収蔵資料展」 前年度に市民の方々から寄贈を受けた資料を紹介。 （4月29日～5月28日）	「新収蔵資料展」 （4月23日～5月22日） 入館者数 1,953人
	ミニパネル展「八戸の災害」 東日本大震災の記憶を忘れず、防災への意識を高めるため、防災月間である9月に合わせて、過去に八戸を襲った災害についてパネルで展示する。（9月1日～9月30日）	ミニパネル展「八戸の災害ー八戸大火と消防ー」 （9月1日～9月30日） 入館者数 1,443人
	新春ミニ企画「えと展-たつ-」 令和5年の干支である「たつ」に関する資料を紹介。 （12月9日～1月14日）	新春ミニ企画「えと展ーうさぎー」 （12月3日～1月15日） 入館者数 866人
	「えんぶり展」 豊作祈願・春を呼ぶ祭りとして開催される国重要無形民俗文化財「八戸えんぶり」に合わせ、えんぶりの起源について記された巻物や明治初期のえんぶりの旗などを紹介。 （2月3日～3月10日）	「えんぶり展」 （2月4日～3月12日） 入館者数 1,831人 （ひな人形展との合計）
	「ひな人形展」 桃の節句にあわせ、八戸の商家に伝えられた享保雛や、日本各地の郷土雛・郷土玩具など、毎年テーマを変えながら紹介。 （2月3日～3月10日）	「ひな人形展」 （2月4日～3月12日） 入館者数 1,831人 （えんぶり展との合計）

施設概要

八戸の特色を盛り込んだ人文系の総合博物館を目指して史跡根城跡に隣接して建設し、昭和58年7月開館した。

- ・所在地 八戸市大字根城字東構 35-1 TEL 44-8111 / FAX 24-4557
- ・総建物面積 約 3,767 m²
- ・利用方法 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日 月曜日（第1月曜日及び祝日を除く）、祝日の翌日、12月27日～1月4日

- ・入場料等（史跡根城の広場は「根城本丸」のみ有料）

		一般	高校生 大学生	小・中学生
博物館	個人	250 円	150 円	50 円
	団体(20 人以上)	130 円	80 円	30 円
博物館・根城本丸 共通券	個人	400 円	240 円	80 円
	団体(20 人以上)	260 円	160 円	60 円

※特別展期間中は料金が変わる場合がある。

市内の小中学生は無料。高齢者（市内の 65 歳以上）及び障がい者手帳をお持ちの方と
その付き添いの方 1 名は半額。

- ・利用状況（令和 4 年度 年間入館者 合計 14,520 人）

開館 日数	入館者 (人)	個人				団体				免除（市内 小・中学生）	高齢者／ 障がい者	その他
		一般	高校生 大学生	小・中学生	計	一般	高校生 大学生	小・中学生	計			
311	14,520	6,732	209	288	7,229	232	0	148	380	5,925 (1,270)	683	303

- ・教育普及

博物館クラブ	草木染めなどの体験学習を年 11 回開催
講演会	市民のための歴史講座を年 4 回開催 博物館「市民講座」と図書館「市史講座」が連携し、共通のテーマによる 歴史講座を開催。4 年度のテーマは「学びの空間・学校」
館外学習	八戸城下めぐりなどの館外学習(城歩き含む)を年 6 回開催（うち 2 回特別 展併催行事）
体験学習	青森大学ワークショップ「七味唐辛子づくり」（4 月 29 日）
	夏休み！寺子屋はちはく（7 月 20 日～8 月 19 日） 市内及び周辺地域の小学生対象 体験メニュー 6 種類から一つ選択 事前予約・先着順（1 日 1 組）
特別公開	国重要有形民俗文化財「八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋」年 2 回

- ・博物館附属施設

施設名	所在地	構造	面積	建設年度
民俗資料収蔵庫	八戸市大字鮫町字大平作 44-41	鉄骨造平屋 木造平屋	81.98 m ² 64.80 m ²	平成 9 年度 昭和 52 年度
浜小屋	八戸市大字鮫町字大平作 44-129	木造平屋	27.84 m ²	昭和 48 年度

南郷歴史民俗資料館

主要事業

常設展	戦時中に八戸、南郷に築かれたトーチカや、昭和 40 年代の町並み、居間を再現し、映像とともに昭和の時代・暮らしを紹介。
-----	---

令和 5 年度事業内容		令和 4 年度実績
特別展	「昭和八戸の鉄道・バス」 八戸の産業と人びとの生活を支えてきた鉄道とバスについて紹介し、その変遷を通して八戸の昭和を振り返ります。（7 月 15 日～9 月 3 日）	「ペーパーアートで見る昭和の情景」 （7 月 16 日～9 月 4 日） 入館者数 1,154 人
企画展	ミニコレクション展「そば」 南郷歴史民俗資料館の収蔵資料から「そば」に関する器や、道具などの資料を一堂に会して紹介する —(11 月 11 日～3 月 17 日)— ※館内エアコン設置工事のため中止	ミニコレクション展「米」 （10 月 8 日～3 月 19 日） 入館者数 457 人

施設概要

南郷の歴史・民俗を紹介する資料館として、昭和 55 年 10 月に開館。平成 3 年には、敷地内に世増地区から古民家を移設し、南郷民具展示館として公開。平成 26 年 4 月 12 日、常設展示等をリニューアルオープン。

- ・所在地 八戸市南郷大字島守字小山田 7-1 TEL・FAX 83-2443
- ・延床面積 753.32 m²
- ・利用方法 開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
- ・休館日 月曜日（第 1 月曜及び祝日を除く）、祝日の翌日、12 月 27 日～1 月 4 日

・入場料等

	一般	高校生 大学生	小・中学生
個人	150 円	100 円	50 円
団体(20 人以上)	100 円	50 円	30 円

※特別展期間中は料金が変わる場合がある。

市内の小中学生は無料。高齢者（市内の 65 歳以上）及び障がい者手帳をお持ちの方とその付き添いの方 1 名は半額。

・利用状況（令和 4 年度 年間入館者 合計 2,164 人）

開館 日数	入館者 (人)	個人				団体				高齢者/ 障がい者/ その他	免除(市内 小・中学生)
		一般	高校生 大学生	小・中学生	計	一般	高校生 大学生	小・中学生	計		
303	2,164	866	41	55	962	37	0	0	37	284	881 (404)

・教育普及

体験学習	しめ飾りづくり
館外講座	南郷文化財めぐりなど移動学習を年 4 回開催
なんごうあそび のひろば	ヨーヨーお手玉づくりなど親子を対象とした体験学習を年 4 回開催

- ・南郷歴史民俗資料館附属施設

施設名	所在地	構造	面積	建設年度
南郷民具展示館	八戸市南郷大字島守小山田7-1	木造平屋	152.84 m ²	平成3年度

史跡根城の広場

施設概要

根城は、南部師行（1334年）により築城されたと伝えられ、南北朝時代には北奥羽における南朝方の中心的な存在として活躍した武将の館である。

史跡根城跡は、昭和16年12月に国史跡に指定され、平成6年10月に復原、史跡根城の広場としてオープンした。

- ・所在地 八戸市大字根城字根城47 TEL 41-1726（管理事務所）／FAX 41-1756
- ・整備面積 約30,000 m²
- ・総建物面積 約1,118.4 m²（主殿、馬屋、工房、鍛冶工房、板蔵、納屋等）
- ・利用方法 開場時間 午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）
休場日 月曜日（第1月曜及び祝日を除く）、祝日の翌日、12月27日～1月4日

- ・入場料等（根城本丸のみ有料）

		一般	高校生 大学生	小・中学生
根城本丸	個人	250 円	150 円	50 円
	団体(20人以上)	130 円	80 円	30 円
根城本丸 博物館共通券	個人	400 円	240 円	80 円
	団体(20人以上)	260 円	160 円	60 円

※博物館の特別展期間中は共通券の料金が変わる場合がある。

市内の小中学生は無料。高齢者（市内の65歳以上）及び障がい者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名は半額。

- ・交通機関 バス：JR・青い森鉄道八戸駅から15分（田面木経由中心街方面行・根城下車）
自家用車：八戸自動車道（八戸インターチェンジから5分）

- ・利用状況（令和4年度 年間入場者 合計 21,296人）

開場 日数	入場者 (人)	個人				団体				免除（市内 小・中学生）	割引	
		一般	高校生 大学生	小・中学生	計	一般	高校生 大学生	小・中学生	計		高齢者／ 障がい者	その他
311	21,296	9,134	314	437	9,885	382	0	82	464	9,756 (955)	717	474

史跡根城の広場管理運営事業

平成18年4月1日から指定管理者制度を導入。

- ・指定管理者 一般財団法人V I S I Tはちのへ
- ・期間 令和元年度～令和5年度（第4期目）
- ・指定管理者実施事業

事業名	令和5年度日程	令和4度実績
城の日	4月6日	4月6日 28人
史跡根城さくらまつり	4月23日	4月24日 1,300人
鎧と小袖姿で記念撮影①	5月1日～5月5日	5月1日～5月7日 81人
根城記念祭	5月22日	5月22日 141人
春の収穫祭（梅）	6月13日・14日	6月29日 27人
史跡根城まつり	10月8日	10月1日 4,510人

鎧と小袖姿で記念撮影②	10月28日・29日	11月5日・6日 66人
イチョウWeek!	11月3日～11月12日	11月5日～11月13日 1,413人
鎧と小袖姿で記念撮影③	11月18日・19日	—
史跡根城・えんぶり公演	2月18日・19日	2月18日・19日 841人
根城おもしろ講座	根城の広場を活用した講演会や体験学習を年10回開催	根城の広場を活用した講演会や体験学習を年9回開催

史跡根城跡環境整備事業

平成30年度に改定した保存活用計画に基づき、史跡の本質的価値を損なうことなく市民が親しみ活用できる史跡公園としての整備・活用を図るため、令和元年度に史跡根城跡第2次整備基本計画を策定した。令和2年度から、第2次整備基本計画に則って整備事業を推進する。

◇文化創造推進課

八戸市文化教養センター（南部会館）

施設の概要

最大で 144 畳となる和室のほか、板の間、舞台などを備えた集会施設。和室 A（24 畳）、和室 B、C、D（各 48 畳・一括使用 144 畳）、舞台（49.7 m²）、板の間（39.6 m²）、準備室（15.0 m²）、控室（4.5 畳）、四阿（13.63 m²）。

- ・所在地 八戸市内丸三丁目 3－6 TEL 43－9202
- ・敷地面積 3,212.01 m² ・建築面積 922.963 m²（四阿 13.63 m²含む）
- ・竣工 昭和 60 年 3 月
- ・利用方法 開館時間 午前 9 時～午後 9 時
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
使用期日 連続で利用できる期間 3 日以内
使用申込 使用 12 ヶ月前から 3 日前まで
受付時間 午前 9 時～午後 6 時（休館日、年末年始を除く）

令和 4 年度利用状況（年間利用 合計 509 回）

和室 A	和室 B	和室 C	和室 D	舞台	板の間	準備室	控室
100 回	78 回	62 回	34 回	19 回	123 回	54 回	39 回

令和 4 年度主要事業

No.	実施月日	事業名
1	月毎	ロビー展、ツキイチツクル
2	8 月 1 日（月）～8 月 4 日（木）	八戸三社大祭（代替イベント）期間中の無料休憩所開設
3	2 月 17 日（金）～2 月 20 日（月）	八戸えんぶり期間中の無料休憩所開設 【八戸えんぶり関連企画】 ・三味線演奏会 ・親子でミニえぼしをつくろう ・えんぶり講座 ・オカリナ演奏会

八戸市公会堂

設置の目的

昭和 50 年 5 月 1 日開館。

当市における芸術文化の普及振興を図り、市民生活の向上に寄与することを目的に設置された。

施設の概要

大ホールは間口 18m、奥行き 18m、高さ 9 m のプロセニウム形式の舞台を有し、収容人員は 1,532 人となっている。舞台はオーケストラピット、迫り上げ装置 1 基、各種の音響、照明機材を備え、楽屋 8 室と浴室が設備されている。他にリハーサル室（兼大会議室）、小会議室、展示ホールの設備がある。

- ・所在地 八戸市内丸一丁目 1－1 TEL 44－7171 / FAX 44－7176
- ・建物総面積 9,538 m²
- ・利用方法 開館時間 午前 9 時～午後 10 時
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
使用期日 連続で利用できる期間 3 日以内
使用申込 ホール：使用する日の 12 ヶ月前から 14 日前まで
会議室：使用する日の 12 ヶ月前から 3 日前まで
受付時間 午前 9 時～午後 5 時（年末年始を除く）

令和4年度利用状況

(入館者数合計 109,940人)

ホール開館日数		307日
ホール	利用日数	172日
	利用人数	84,260人
	利用率	56%
会議室等開館日数		309日
リハーサル室	利用日数	125日
	利用人数	6,980人
	利用率	40%
小会議室	利用日数	43日
	利用人数	350人
	利用率	14%
展示ホール	利用日数	15日
	利用人数	900人
	利用率	5%

その他	利用日数	—
	利用人数	17,450人
	利用率	—

区分	利用件数	比率
音楽	63 (47) 件	35 %
演劇	18 (3) 件	10 %
舞踊	12 (6) 件	6 %
芸能	15 (8) 件	8 %
集会	72 (50) 件	40 %
映像	1 (0) 件	1 %
合計	181 (114) 件	100 %

※ () 内は、地元出演者による公演。

※利用件数は、1日2団体が公演した場合は、2件として算定

令和4年度主要事業

No.	実施月日	事業名
1	4月3日(日)	若柳竹永卒寿記念 柳永会舞踊公演
2	4月24日(日)	八戸市民フィルハーモニー交響楽団 第54回定期演奏会
3	5月1日(日)	仙台フィルハーモニー管弦楽団「ガラ・コンサート」
4	5月12日(木)	野村万作・萬斎 狂言八戸特別公演
5	6月26日(日)	きゅりーぱみゅぱみゅ 10th ANNIVERSARY JAPAN TOUR2022
6	7月7日(木)	第20回八戸東高等学校表現科公演
7	7月17日(土)	私の恋人 beyond
8	7月26日(火)	三井住友海上文化財団ときめくひととき第924回 地域住民のためのコンサート「なぎさプラスゾリステン〜金管五重奏と打楽器によるアンサンブル」
9	8月5日(金)	「キエフ・バレエ・ガラ2022」八戸公演
10	8月9日(火)	公会堂探検隊2022
11	8月25日(木)	落語三人会
12	9月24日(土)・25(日)	市民音楽祭「HACHINOHE ナリキリ音楽祭」×「HACHINOHE フォークジャンボリー」
13	9月28日(水)	「角笛シルエット劇場」・影絵講習会
14	11月4日(金)	ディズニーオンクラシック〜まほうの夜の音楽会〜
15	12月7日(水)	林家木久扇・柳家喬太郎 落語二人会
16	2月17日(金)・18日(土)	国指定重要無形民俗文化財「えんぶり公演」
17	2月27日(日)	第16回八戸パフォーマンス劇場、第18回はちのへ子どもフェスタ
18	3月4日(土)・5日(日)	八戸ファンタジィ
19	3月11日(日)	NHK のど自慢
20	3月23日(日)	十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業
21	随時	職場体験、施設見学
22	随時	公会堂ロビー展

八戸市公民館（八戸市公会堂文化ホール）

設置の目的

昭和 52 年 5 月 1 日開館。

八戸市全域の住民の教養向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的に設置された。

施設の概要

ホールは間口 14m、奥行き 8.5m、高さ 7.5mの舞台を有し、収容人員は 507 人となっている。舞台は、迫り上げ装置 1 基、各種の音響、照明機材を備え、楽屋 4 室が設備されている。他に会議室 4 室、和室 2 室、講義室、調理室、展示室、展示ロビーの設備がある。

- ・所在地 八戸市内丸一丁目 1－1 TEL 45－1511 / FAX 44－7176
- ・建物総面積 4,681 m²
- ・利用方法

開館時間	午前 9 時～午後 10 時
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
使用期日	連続で利用できる期間 3 日以内
使用申込	ホール：使用する日の 12 ヶ月前から 14 日前まで 会議室：使用する日の 12 ヶ月前から 3 日前まで
受付時間	午前 9 時～午後 5 時（年末年始を除く）

令和 4 年度利用状況

（入館者数合計 45,840 人）

ホール開館日数		307 日
ホール	利用日数	148 日
	利用人数	28,480 人
	利用率	48%
会議室等開館日数		320 日
会議室 1	利用日数	105 日
	利用人数	1,650 人
	利用率	33%
会議室 2	利用日数	83 日
	利用人数	1,340 人
	利用率	26%
会議室 3	利用日数	72 日
	利用人数	1,170 人
	利用率	23%
会議室 4	利用日数	62 日
	利用人数	770 人
	利用率	19%
和室 1	利用日数	64 日
	利用人数	480 人
	利用率	20%
和室 2	利用日数	42 日
	利用人数	290 人
	利用率	13%

講義室	利用日数	106 日
	利用人数	3,160 人
	利用率	33%
調理室	利用日数	15 日
	利用人数	60 人
	利用率	5%
展示室	利用日数	97 日
	利用人数	2,020 人
	利用率	30%
その他	利用日数	—
	利用人数	6,420 人
	利用率	—

区分	利用件数	比率
音楽	62（49）件	40 %
演劇	27（20）件	17 %
舞踊	8（8）件	5 %
芸能	11（10）件	7 %
集会	47（39）件	30 %
映像	2（0）件	1 %
合計	157（126）件	100 %

※（ ）内は、地元出演者による公演。

※利用件数は、1 日 2 団体が公演した場合は、2 件として算定

令和4年度主要事業

No.	実施月日	事業名
1	5月27日（金）・28日（土）	八戸市公民館特別企画演劇公演「スカシユリの丘の向うへ」
2	6月29日（水）	ムジカトウキョウ「にじいろキッズコンサート」
3	7月7日（木）・21日（木） 8月25日（木） 9月1日（木）・21日（水）	「南部昔コ語り部」養成講座
4	8月5日（金）	第38回舞台・照明・音響技術講座
5	8月7日（日）	社団法人全国公立文化施設協会アートキャラバン事業 人形劇「ダルレの物語」
6	8月13日（土）～19日（金）	イカール国際音楽祭2022 第12回イカール国際ミュージックキャンプ
7	10月～1月	うみねこ演劇塾（ジュニア塾：19回、シニア塾：21回）
8	12月26日（月）・27日（火） 1月5日（木）～7日（土）	やってみよう舞台づくり
9	1月7日（土）	第10回うみねこ演劇塾発表会

八戸市南郷文化ホール（スウィングベリーNANGO）

設置の目的

平成20年6月1日開館。

芸術文化の発表及び鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化の普及振興を図るとともに広域的文化交流を促進し、市民生活の向上に寄与することを目的に設置された。

施設の概要

ホールは間口16.8m、奥行き8.5m、高さ7mの舞台を有し、収容人員は450人となっている。また、1階は、410人の可動席を収容し約20m四方のオープンスペースとして使用が可能である。2階にはガラスで仕切った親子席10席も設けてあり、幼い子どもと一緒に鑑賞ができる。舞台は各種の音響、照明機材を備え、楽屋4室とシャワー室2室が設備されている。

- ・所在地 八戸市南郷大字市野沢字中市野沢24-1 TEL 60-8080 / FAX 60-8081
- ・建物総面積 1,765 m²
- ・利用方法

開館時間	午前9時～午後10時
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月28日～1月4日）
使用期日	連続で利用できる期間3日以内
使用申込	ホール：使用する日の12ヶ月前から14日前まで 練習利用は、使用する日の2ヶ月前から3日前まで
受付時間	午前9時～午後5時（休館日、年末年始を除く）

令和4年度利用状況（入館者数合計 14,351人）

開館日数			区分	利用件数	比率
ホール	利用日数	156日	音楽	121（119）件	72 %
	入館者数	12,941人	演劇	18（16）件	11 %
	利用率	51 %	舞踊	16（16）件	10 %

その他	利用日数	—
	入館者数	1,410 人
	利用率	—

芸能	8 (8) 件	5 %
集会	4 (4) 件	2 %
映像	0 (0) 件	0 %
合計	167 (163) 件	100 %

※ () 内は地元出演者による公演

※利用件数は1日2団体が公演した場合は、2件として算定

令和4年度主要事業

No.	実施月日	事業名
1	5月1日(日)	スウィングベリージャズオーケストラコンサート
2	8月7日(日)	スウィングベリーでおはなし会 ①
3	8月17日(水)～19日(金)	サマーダンスセミナーin南郷
4	9月25日(日)	南郷アートジャムフェスタ (Viva!Bossa!!18)
5	10月1日(土)	SWINGBERRY JAZZ TIME vol.1 ジュニアジャズコンサート
6	10月2日(日)	SWINGBERRY JAZZ TIME vol.2 スウィングベリージャズパーティー
7	10月19日(月・祝)	こどもはっち秋の文化公演 劇団プーク公演
8	11月20日(日)	ショウワ ナンゴウ サウンズ
9	12月18日(日)	スウィングベリーでおはなし会 ②
10	1月7日(土)	県南民舞踊まつり
11	1月21日(土)	Ting Ting 中国琵琶コンサート
12	2月5日(日)	南郷郷土芸能発表会
13	2月12日(土)	なんごう雪蛸まつり
14	3月18日(土)	小野リサ ボサノヴァ・コンサート
15	3月26日(日)	スウィングベリージャズオーケストラコンサート

八戸南部氏庭園

施設の概要

八戸南部氏庭園は、第9代八戸藩主であった南部信順公の時代(1847年)に造られたとされており、藩政時代の庭園芸術を今日に伝えるものである。平成17年度から、植栽樹木が見頃となる春と秋の年2回庭園を一般開放している。

- ・所在地 八戸市売市四丁目23-3
- ・庭園総面積 6,639 m²

利用の状況（令和４年度来園者合計 2,034 人）

春 5月27日（金）～5月30日（月）	790 人	秋 11月4日（金）～11月7日（月）	1,244 人
------------------------	-------	------------------------	---------

八戸市立集会場（更上閣・更上閣にぎわい広場）

施設の概要

更上閣は、かつての財閥である泉山家の邸宅として明治30年頃に建築された建物で、平成15年に国の登録有形文化財となった。現在は集会場として使用されている。大広間（35畳）、1・2・3号室（各8畳）、会議室（18畳）、にぎわい広場（1,778.63㎡）。

- ・所在地 八戸市大字本徒士町5番地4 TEL 22-2260
- ・敷地面積 7,433.99㎡（にぎわい広場を含む）
- ・建築面積 501.27㎡
- ・利用方法
 - 開館時間 午前9時～午後9時
 - 休館日 年末年始（12月28日～1月4日）
 - 使用期日 連続で利用できる期間5日以内
 - 使用申込 使用6ヶ月前から2日前まで
 - 受付時間 午前9時～午後5時（休館日、年末年始を除く）

令和４年度利用状況（年間利用 合計1,312回）

大広間	1号室	2号室	3号室	会議室	にぎわい広場
262回	256回	320回	308回	165回	1回

令和４年度主要事業

No.	実施月日	事業名
1	9月18日（日）	閣フェス
2	10月29日（土）～11月13日（日）	第6回 更上閣菊花展
3	3月1日（水）～3月21日（火）	第14回 更上閣ひなまつり展

八戸市文化賞受賞者名簿

回	年度	受賞者	性別	受賞分野	備考
50	24	井 上 澄 子 大 橋 紀 子 大久保 康 治	女 女 男	裂織 書道 書道	(号 玉樹) (号 秀水)
51	25	小 川 重 子 千 田 節 生	女 男	工芸 (プレストフラワー) 文芸 (短歌)	
52	26	細 越 テツ子 齋 藤 昌 子 赤 坂 イネ子 高 橋 良 之	女 女 女 男	書道 日本舞踊 新舞踊 音楽	(号 玉蓮) (花柳 葉昌栄) (花美 稲扇佳)
53	27	市 川 光 作 三 浦 博 子 村 上 寛	男 女 女	民俗芸能 書道 美術工芸	(号 芳汀) (高橋 寛子)
54	28	土 井 三 乙 吉 田 幸 子 木 村 由記子 豊 島 重 之 女声コーラス プリマヴェーラ	男 女 女 男	俳句 絵画 洋裁 舞台芸術 合唱	(モード・由記)
55	29	清 野 耕 司 類 家 き ぬ 藤 島 廣 司 佐々木 玲 子 吉 田 千嘉子 五 戸 敏 明 宮 古 博 文	男 女 男 女 女 男 男	バトントワリング 生活文化 (編物) 絵画 華道 俳句 書道 書道	(類家 絹子) (号 陽紅) (号 光岳) (号 文雪)
56	30	大久保 隆 允 高 橋 千 恵 鈴 木 陽 子 田 中 知佐好	男 女 女 女	音楽 (合唱) 俳句 絵画 書道	(高橋 千恵) (菅原 陽子) (号 扇溪)
57	元	奥 田 卓 司 小笠原 節 子 清 川 和 子 佐 藤 千鶴子 柳 町 洋 子	男 女 女 女 女	俳句 書道 茶道 生活文化 (洋裁) 書道	(星奥庵 卓司) (号 素心) (号 宗和) (号 祥香)
58	2	木 立 徹 子 石 田 和 子	男 女	短歌 書道	
59	3	荒 瀬 久 子 岩 澤 京 子 漆 畑 幸 男 嵯 峨 昭 彦 佐 藤 功 藤 村 誠	女 女 男 男 男 男	華道 書道 絵画 音楽 書道 書道	(号 豊波) (号 翠汀) (号 翠洋) (号 竹風)
60	4	重 茂 操 杉 本 敦 子	女 女	日本舞踊 書道	(若柳 貴久永)

※受賞者氏名に使用されている文字が異体字の場合、代替文字を使用している場合があります。

八戸市文化奨励賞受賞者名簿

回	年度	受賞者	性別	受賞分野	備考
47	24	木 村 由記子 今 順 子	女 女	洋裁 俳句	
48	25	藤 村 誠 立 崎 由里子	男 女	書道 書道	(号 竹風) (号 小苑)
49	26	該当者無し			
50	27	前 田 利 久	男	写真	
51	28	該当者無し			
52	29	吹上山車組 向陵高等学校バトン部 河原木 高 志 佐 藤 としえ	男 女	民俗行事 バトントワリング 書道 書道	(号 孤邨) (号 寿恵)
53	30	村 田 加壽子	女	俳句	(村田 加寿子)
54	元	該当者無し			
55	2	佐々木 絵理子 中 川 慧 梧 木 村 廣 子 山 道 奈津子	女 男 女 女	短歌 将棋 書道 書道	(号 翠川) (号 西奈)
56	3	黒田 長子 佐藤 恭子	女 女	俳句 書道	
57	4	佐藤 栄子 川向 美穂子	女 女	書道 書道	(号 小菊) (号 游香)

※受賞者氏名に使用されている文字が異体字の場合、代替文字を使用している場合があります。

◇美術館

概要

「出会いと学びのアートファーム」をコンセプトとし、誰もが気軽にアートに触れられる機会を提供する「展覧会」と、市民とともにアートを介して出会いや学びを誘発する、様々な「プロジェクト」を行う。

主要事業

○展覧会・プロジェクト

展覧会名	内容	令和4年度実績
企画展「持続するモノガタリ ー語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから」	作品（モノ）が語ることと作品を語ることの2つの意味での「モノガタリ」によって、コレクションのモノガタリを持続させることがテーマの展覧会。	会期：R4.3.19(土) ～R4.6.6(月) 観覧者数：5,005人
	・鑑賞クラブ「木々」	日時：①4.14(木)、 ②4.28(木)、 ③5.12(木)、 ④5.26(木) 参加者数：①5人、②7人、 ③2人、④6人
	・石橋忠三郎アーティストトーク	日時：R4.4.24(日) 参加者数：25人
	・今川和男アーティストトーク	日時：R4.5.22(日) 参加者数：27人
	・ギャラリートーク	日時：①4.9(土)、 ②5.8(日)、 ③6.5(日) 参加者数：①17人、②8人、 ③25人
まるごと馬場のぼる展 描いた つくった 楽しんだ ニャゴ！	絵本「11ぴきのねこ」シリーズで知られる漫画家・馬場のぼる（1927～2001）を様々な側面から紹介する展覧会。	会期：R4.7.2(土) ～R4.8.29(月) 観覧者数：21,062人
	講演会『「11ぴきのねこ」と馬場のぼる先生ーその世界を支えたユーモアと故郷・青森ー』	日時：R4.7.3(日) 参加者数：55人
	鑑賞プログラム「見て、読んで、おしゃべり鑑賞会」	日時：R4.7.10(日) 参加者数：3人 日時：R4.8.21(日) 参加者数：3人
	「11ぴきのねこ写真撮影会」	日時：R4.7.2(土)、7.3(日)、 7.16(土)、7.17(日)、 7.18(月・祝)、7.30(土)、 7.31(日)、8.27(土)、 8.28(日)、8.29(月) 参加者数：延べ700人

	「11 ぴきのねこラッピングバスがやってくる」	日時：R4. 7. 2 (土)、7. 3 (日)、 7. 16 (土)、7. 17 (日)、 7. 18 (月・祝)、7. 23 (土)、 7. 24 (日)、7. 30 (土)、 7. 31 (日)、8. 6 (土)、 8. 7 (日)、8. 11 (木・祝)、 8. 13 (土)、8. 14 (日)、 8. 20 (土)、8. 21 (日)、 8. 27 (土)、8. 28 (日)
コレクションラボ 001 船越保武展 静謐の中に佇む	崇高な聖人像や優美な女性像で知られる彫刻家・舟越保武 (1912 ～ 2002) の没後 20 年にあたり、当館所蔵の作品により、具象彫刻の頂点を築いた舟越保武の世界を紹介する展覧会。	会期：R4. 3. 12 (土) ～R4. 6. 20 (月) 観覧者数：6,418 人
コレクションラボ 002 地をみつめる	八戸ゆかりの作家による、八戸市の風景が描かれた作品を中心に展示。	会期：R4. 9. 10 (土) ～R5. 1. 16 (月) 観覧者数：9,809 人
	・地をみつめるマッピング 展示室入口に貼られた市内地図に、市内スポットの情報を自由に書き込んでいくマッピングプロジェクト。	R4. 9. 10 (土) ～R5. 1. 16 (月) コメント数：284 件
	・ほろ酔い鑑賞「ほろ 8」 八戸焼のお猪口で八戸の地酒をいただいた後、展示作品を鑑賞。	R4. 10. 7、11. 4、12. 2 R5. 1. 13 ※すべて (金) 参加者数：32 人
コレクションラボ 003 七尾英鳳 ー花鳥風月を愛でるー	ふるさとの風景を愛で、その優美で繊細な美しさを表現し続けた七尾英鳳 (1884～1962)。十和田湖や八甲田山を描いた襖絵や屏風絵など、新収蔵となった作品 5 点を初公開。	会期：R5. 1. 21 (土) ～R5. 2. 20 (月) 観覧者数：2,239 人
	・ギャラリートーク	R5. 1. 28 (土)、2. 11 (土) 参加者数：延べ 20 人
	・ほろ酔い鑑賞「ほろ 8」	R5. 2. 17 (金) 参加者数：7 人
コレクションラボ 004 伊藤二子ー生のかたちー	昭和から平成にかけて、「非具象」による表現を探究した伊藤二子 (1926～2019)。生きることへの問い掛けや心の内を、大胆な線や形、色で伝えようとした。躍動感あふれる新収蔵作品 16 点を初公開。	会期：R5. 2. 24 (金) ～R5. 4. 10 (月) 観覧者数：3,480 人
	・ほろ酔い鑑賞「ほろ 8」	R5. 3. 3 (金) 参加者数：10 人

帆風美術館×八戸市美術館 共催企画 新春屏風展	帆風美術館との共催により日本の伝統文化を代表する屏風絵を展示し、新春を寿ぐ。	R5. 1. 2(月)～R5. 1. 23(月) 観覧者数：6,883 人
	・ 琴と尺八の調べ	R5. 1. 2(月)、1. 8(日) 参加者：延べ 160 人
	・ 屏風を作ろう！	R5. 1. 21(土) 参加者：15 人
	・ 落語と漫談の夕べ	R5. 1. 22(日) 参加者：55 人
伊藤二子プロジェクト×八戸市美術館 共催企画 伊藤二子回顧展－その一瞬－	伊藤二子プロジェクトが管理している作品約 60 点を展示し、一瞬の輝きのかげらともいえる作品とともに、伊藤二子の半生を回顧する。	R5. 3. 17(金)～4. 2 (日) 観覧者数：3,482 人

○アートファーマープロジェクト

事業名	内容	令和 4 年度実績
八戸市美術館建築ツアーガイド	講座を通して八戸市美術館の建築について学んだアートファーマーがガイド役となり、来館者を案内する。	講座：R4. 10. 29～12. 10 ガイド：毎月最終土曜日 講座参加者数：16 人 ガイドツアー参加者数：各回 10 人
きむらとしろうじんじん 八戸野点 2022 in 美術館マエニワ	R 5 年度に開催する展覧会「美しい HUG！」に先駆けて、プロジェクトをスタート。陶芸家・美術家のきむらとしろうじんが、市民のメンバーとともに魅力的な場所を探し、お茶碗の絵付けやお抹茶を楽しんでもらう「野点」を実施。	R4. 6. 11 (土) ～10. 1. (土) プロジェクトメンバー：22 人 野点本番参加者：210 人
リヤカーメラプロジェクト	美術家・写真家の佐藤時啓氏発明の移動式巨大カメラを運行するプロジェクト。	アートファーマー参加者：11 人 活動実績：講座 1 回、リハーサル 2 回、準備 1 回、本番 5 回
タノミマスプロジェクト	展覧会「美しい HUG！」の出展作品「タノミマス」の準備や会期中の運営を行うプロジェクト。	第 1 回：R5. 1. 29 (日) アートファーマー参加者：15 人 第 2 回：R5. 2. 26 (日) アートファーマー参加者：20 人 第 3 回：R5. 3. 26 (日) アートファーマー参加者：15 人

○学校連携プロジェクト

事業名	内容	令和4年度実績
学校連携プロジェクト会議	プロジェクトチームのメンバー（小中高教員、美術教育専門家、美術館スタッフ）による全体会議を3回開催し、活動内容の検討や、授業で活用できる研修等を行った。	日時：①R4.9.29(木)、②12.27(火)、③R5.3.28(火) メンバー数：22人
小中高合同鑑賞会	小中学生・高校生混合のチームで企画展「まるごと馬場のぼる展」を鑑賞した。	日時：R4.8.10(水) 参加校数：4校 参加者数：13人
美術館新聞部 プロジェクト	小中学生と高校生が、新聞をつくるプロジェクト。昨年度に続いて展覧会やアーティスト、近隣の店舗を取材し、第2号を刊行した。	日時：R3.3.22(月)～継続中 参加校数：3校 参加者数：11人
はみ出す力展 vol.4 -図工・美術の授業展への出展	全国の教員らが図工・美術の授業を展示する展覧会に参加し、学校連携プロジェクトの取組をパネルで展示した。 また、会期中に「オンライン鑑賞会」の発表者として参加し、取組の例を詳しく説明・紹介した。	会期：R4.9.11(日)～9.18(日) 会場：うらわ美術館

○アートの学び事業

事業名	内容	令和4年度実績
三校連携「創作ワークショップ」	八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部、八戸工業大学、八戸工業高等専門学校の特長を生かした、アートを切り口としたワークショップを開催。	開催数：8回 参加者数合計：209人
学生×社会人のアートの学び実践講座事業	外部講師を招聘し、学生と一般参加の社会人が一緒にフィールドワークやディスカッション等を行う「ジャイアントルーム開拓団」講座を開催。	開催数：3回 参加人数：25人 (うち八戸学院学生15名)
美術館のアクセシビリティ向上事業	美術館の展覧会の会期中、「八戸学院まちなカラボ」に保育士を目指している学生が運営する託児スペースを開設する。	開設数：8回 利用者数合計：60人

○写真のまち八戸事業

事業名	内容	令和4年度実績
写真家招聘プロジェクト	写真家の佐藤時啓を招聘し八戸で撮影した写真作品を展覧会「佐藤時啓-八戸マジックランタン-」で発表した。	会期：R4.10.29(土)～R5.1.9(月・祝) 観覧者数：6,305人
	「リヤカーメラに乗ってみよう」アートファーマーが運営し、リヤカーメラ乗車イベントを実施	実施日：R4.9.18(日)、11.6(日)、12.3(土)、12.18(日)、R5.1.7(土) 参加人数：203人
	トークイベント「マジックランタンと八戸ハウス」 展覧会が開催されるまでを振り返るトークイベントを実施した。	実施日：R4.12.3(土) 参加人数：45人

	ワークショップ「段ボールカメラ」 段ボールでピンホールカメラを作るワークショップを実施した。	実施日：R4.12.4（日） 参加人数：17人
	市民写真展「八戸フォトマッピング」 市民が撮影した写真作品を展示した。	会期：R4.12.18（日）～ R5.1.9（月・祝） 会場：ギャラリー1・2
	ワークショップ「八戸フォトブックをつくってみよう」自分で撮影した写真を用いた冊子づくり。	会期：R5.1.8（日） 参加人数：8人

5 委員名簿

八戸市教育委員会委員

令和5年10月1日現在

職 名	氏 名	委員任期
委員	小瀬川 喜 井	令和2年10月1日～令和6年9月30日
委員	福 井 武 久	令和3年10月1日～令和7年9月30日
委員	西 山 康 巳	令和4年10月1日～令和8年9月30日
委員	小 澤 直 子	令和5年10月1日～令和9年9月30日

八戸市社会教育委員

任期 令和4年5月1日～令和6年4月30日

令和5年10月1日現在

区 分	役 職	氏 名	所属機関・団体名（職）等
学校教育関係者		田 村 元	八戸市私立幼稚園協会 理事
		川 村 洋	八戸市小学校長会 副会長
		竹 花 和 人	八戸市中学校長会 会長
社会教育関係者		富 岡 朋 尚	八戸市連合父母と教師の会 会長
		宮 古 博 文	八戸市文化協会 事務局長
		坂 本 俊 也	一般社団法人八戸青年会議所 理事長
		木 村 孝 志	八戸市少年団体活動振興協議会 理事
家庭教育関係者		新井谷 昌 江	特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 事務局長
		津 馬 真 弓	おやこ食育Lab. ココロオドル 主宰
	副委員長	松 本 亜矢子	八戸おはなしの会紙風船 書記
学識経験者	委員長	根 城 隆 幸	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科 教授
	副委員長	川守田 礼 子	八戸工業大学 感性デザイン学部感性デザイン学科 准教授
		鈴 木 康 弘	八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 講師
公 募		楳 内 有希子	
		大 山 美紀子	

八戸市文化財審議委員

任期 令和4年5月1日～令和6年4月30日

令和5年10月1日現在

区 分	役 職	氏 名	所属機関・団体名（職）等
学識経験者	委員長	三 浦 忠 司	八戸歴史研究会 会長 / 安藤昌益資料館 館長
	副委員長	滝 尻 善 英	青森県文化財保護協会会長
		工 藤 竹 久	史跡根城保存会会長
		熊 谷 隆 次	八戸工業大学第二高等学校 教諭
		斎 藤 政 人	アレック情報ビジネス学院 建築科 非常勤講師
		高 橋 晃	日本植生学会会員 / 北奥羽自然史研究所 所長
		山 田 泰 子	八戸市美術館 美術専門監

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館運営協議会委員

任期 令和4年6月30日～令和6年3月31日

令和5年10月1日現在

区 分	役 職	氏 名	所属機関・団体名（職）等
知識経験者	会長	岡 村 道 雄	奥松島縄文村歴史資料館 名誉館長
	副会長	高 田 和 徳	御所野縄文博物館長
		山 下 治 子	株式会社アム・プロモーション 編集長
		石 川 宏 之	静岡大学准教授

任期 令和5年7月27日～令和6年3月31日

令和5年10月1日現在

区 分	役 職	氏 名	所属機関・団体名（職）等
知識経験者		木 村 和 彦	デーリー東北新聞社取締役編集局長
		出 貝 幸 浩	八戸市立城北小学校校長

八戸市博物館協議会委員

任期 令和5年6月1日～令和7年5月31日

令和5年10月1日現在

区 分	役 職	氏 名	所属機関・団体名（職）等
学識経験者	会長	工 藤 竹 久	元八戸市博物館 館長
学識経験者	副会長	滝 尻 善 英	青森県文化財保護協会会長
社会教育関係者		元 沢 弘 志	根城史跡ボランティアガイドグループ代表
学識経験者		有 馬 克 美	元青森県立郷土館協議会委員
社会教育関係者		平 間 恵 美	特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表理事
団体推薦		川 口 桂 子	デーリー東北新聞社 執行役員 論説委員長
		工 藤 由貴子	駒沢幼稚園 園長
		出 貝 幸 浩	八戸市立城北小学校 校長
		薦 川 誠	八戸市立長者中学校 校長

八戸市青少年問題協議会委員

任期 令和5年7月1日～令和7年6月30日

令和5年10月1日現在

区 分	役 職	氏 名	所属機関・団体名（役職名）
関係行政機関		齋 藤 信 哉	八戸市教育委員会 教育長
		中 村 大 輔	八戸警察署 刑事生活安全官
学識経験者		村 岡 威 伴	八戸市社会福祉協議会 常務理事
		坂 本 俊 也	八戸青年会議所 理事長
		小笠原 光 佑	八戸市連合父母と教師の会 監事
	会長	竹 花 剛 二	八戸市小学校長会 多賀台小学校校長
	副会長	管 宏	八戸市中学校長会 第二中学校校長
		田 中 正 子	八戸地区保護司会 副会長
		吉 岡 義 久	八戸市青少年生活指導協議会連合会 副会長
		高 橋 昌 樹	八戸市少年団体活動振興協議会 理事
		田 邊 伸 子	八戸市民生委員児童委員協議会 会計
		田名部 和 彦	八戸市スポーツ協会 副会長
		平 野 悦 子	八戸地区連合防犯協会 八戸地区連合防犯女性部長
		田 島 博 文	三八地区高等学校生徒指導部会 部会長
		富 岡 節 子	八戸市青少年健全育成「愛の一声」市民会議 実行委員
		野 沢 宗 巨	八戸市保育連合会 副会長

令和5年度 八戸の社会教育

令和5年10月発行

編集 八戸市教育委員会 社会教育課

発行 八戸市教育委員会

〒031-8686

八戸市内丸一丁目1番1号

TEL 0178-43-9154

— 家庭教育充実のために —

八戸市子育て5か条

1. 一日のはじめは笑顔で「おはよう」

（にこやかな朝のあいさつは、家族のつながりを確かなものにします。）

1. 家族でしっかり「朝ごはん」

（心と体の健康は、みんなでいっしょの朝ごはんからはじまります。）

1. 子育ては 誉める・叱る・見守る・抱きしめる

（愛情をこめて育てることが大切です。）

1. 親から実行「社会のルール」

（親は子どものかがみです。子どもたちはよく見ています。）

1. 声かけよう 地域の未来 子どもたち

（自分の子どもと同じように地域の子どもたちにも接しましょう。）



八戸市家庭教育推進協議会 平成 17 年 3 月制定